

乙女たちの戦車道ライフをサポートする専門誌

月刊 戦車道

第63回
戦車道
全国高校生大会
増刊 第5号

巻頭特集 ブラウダ高校戦の知られざるエピソードをクローズアップ
グラフィック イン アクション

アマチュア無線に挑む武部沙織の奮闘記
大洗女子[茨城]チームの日常

血路を開く工兵戦車を一挙紹介！
不肖・秋山優花里の
戦車講座

好評連載中 目指すは優勝!!負けられない戦いがここに！
聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡
聖グロリアーナ女学院[神奈川]×黒森峰女学園[熊本]への道〈第5回〉

黒森峰

最強を誇る、黒森峰の実力とは!?
ライバルチーム研究

真面目なカモさんチームの素顔に迫る
大洗女子[茨城]チームメンバー 戦車愛を語る

劇場版の情報をいち早くお知らせ
ガルパン トピックス

あらゆる観点から関係者を徹底取材
プロジェクトG~ガルパンを支えた人びと~

グラフィック イン アクション
GRAPHIC IN ACTION





学園の危機を救ったカメさんチームの3人

本来、カメさんチームの38(t)戦車では、プラウダ高校の主力戦車を撃破することは不可能に思われた。だがカメさんチームは、車長である角谷の的確な指示と射撃、そして操縦手・小山の卓越した操縦で、不可能を可能に変えることに成功。相手戦車を2輌も撃破した。

最後は、プラウダ高校のノンナにより38(t)戦車は撃破されるが、カメさんチームは大洗女子の運命をかけた戦いにおける、最高殊勲者と言っても過言ではないだろう。

第5回

ライバルチーム研究

今回は、全国大会決勝戦にて大洗女子に大接戦の末、惜しくも準優勝となった黒森峰を徹底紹介。あわせて、一回戦で敗れた青師団高校や、大会未出場だった奈良のグレゴール高校にスポットを当ててみよう。

黒森峰女学園

Kuromorimine Girls' High School

熊本県にある学校で、戦車道全国高校生大会で前人未到の9連覇を成し遂げた、まぎれもない強豪校。名義上の母港は熊本港であるが、有明海に学園艦の進入が難しいため、通常は天草灘などに沖掛りして、連絡船で熊本港まで移動することが多い。また移動の迅速化のために、ヘリも多数保有している。

学校設立時から、戦車道における有力流派のひとつである西住流との関係が深い。西住流は元々、武田流弓馬軍礼故実の流れを汲んでいた。その武田流を受け継いでいた若狭武田家が絶えた後、細川藤孝に伝授され、細川家から家臣である竹原家が継承した。宝暦四年(1754年)に熊本八代藩主・細川重賢が、熊本城内に文武両道の藩校時習館を設立。広く人材を募ったが、そこでは武田流の流鏑馬が必修となっていた。西住流の初代もこのとき、時習館で騎射道を学び、新たな流派を起こしている。だが、幕末の近代化にともない弓術が廃れると、西住流ではいち早くプロイセン式の騎兵術を取り入れ、西住流馬上鉄砲術として再編を行った。また九州では、妙林尼や、立花誾千代などの女傑が活躍したこともあり、馬上薙刀道も活発であった。さらに流鏑馬と同じく馬を使うところから、西住流でも女性向けに馬上薙刀を取り入れていた。

こうして、熊本では西住流を中心に薙刀と鉄砲を使う女性騎兵隊が誕生。近代化の後は正規の軍組織に取り入れられていく。その際、陸軍において戦車が女性騎兵隊へと優先的に配備されるようになったことが、西住流の中に戦車道が生まれるきっかけとなった。とくに第一次大戦後、旧式戦車が払い下げられると、西住流ではそれらを積極的に購入。重装甲と重火力による蹂躙戦術というわかりやすい戦術が人気を博し、戦車道の一大流派として成長していった。また、西住流では、プロイセン流の騎兵術を取り入れていたこともあり、早くからプロイセンと交流を持っていた。その後プロイセンがドイツを統一すると、同国から積極的に技術を導入した。それまで日本とドイツの関係は、長崎の出島にケンペルやシーボルトなどが医師として来たのが始まりであった。ただし、それらはあくまでも個人としての来日であり、国家としての交流は、幕末を待つまでなかった。ところが開国後、プロイセンによって統一されたばかりのドイツは、日本が近代国家への手本とするのにちょうど良く、各種の分野でドイツを参考にしている。西住流も前述の通り、早くからプロイセンと交流を持っていたため、多くの門下生や時には当主をドイツへと送り、教育を受けさせていた。だが、第一次大戦が近付く頃には日本とドイツの関係は悪化。大戦では日英同盟によって日本は連合国側に参戦し、ドイツと敵対することになった。

ドイツの東洋植民地を攻撃した日本は、多くのドイツ人捕虜を自国へと連れ帰ることになった。この捕虜たちからドイツ料理などが日本に紹介され、また一部の捕虜は戦後も日本に残ることを決めた。西住流関係者は、ドイツとの関係から捕虜を手厚く歓迎。多くのドイツ人が日本に残るきっかけを作り、同時に祖国へと帰ったドイツ人とも長く親交を結ぶことになった。祖国に戻ったドイツ人のなかには、のちに軍の高官や政治家、大企業の重役となった者もおり、この縁が元で西住流がある熊本にドイツとの提携による黒森峰女学園が設立された。そのため西住流や同校は、多数の優秀なドイツ戦車をいち早く入手することができた。また戦後の混乱期にも、ドイツから試作車輌も含めた大量の戦車や関連機器を導入している。だがその後、再びドイツとの関係は、多少疎遠になった模様である。

生徒の気質としては、責任感と正義感が強く、行動力にあふれている。また質実剛健な気風を重んじ、何事にも全力投球するところがある。その反面、頑固で強情なところがあり、保守的で融通も利かない、と他校から評されることも多い。また口下手で、人を説得するのが不得意なところがある。さらに頑固な割には権威に弱いとも言われている。戦車道で言えば、全体的に西住流へと寄りかかっており、変革を恐れている傾向も指摘される。

黒森峰女学園の選手たち



西住まほ

熊本県熊本市出身の17歳。血液型はA型。黒森峰戦車道チームの隊長で、西住流の後継者でもある。好きな教科は歴史。学校での成績はトップクラスを誇る。日課としてジョギングをしており、座右の銘は「人の価値は、努力の量で決まる」である



逸見エリカ

黒森峰戦車道チームの、副隊長を務める16歳。熊本県熊本市出身で、血液型はAB型である。家族は両親のほか、姉が一人いる。学校の成績は上位をキープ。好きな科目は物理。ネットサーフィンが日課で、「上知と下愚とは移らず」を座右の銘としている



黒森峰の戦法は、整然と隊列を組み、高い火力と防御力で相手を圧倒することに主眼が置かれている。だが想定外の事態が訪れると、意外な脆さも見せた

第63回戦車道全国高校生大会を盛り上げた

黒森峰女学園の使用戦車1








ティーガーⅠ

第二次世界大戦時、ドイツ戦車の主流だったバランス重視の設計思想から一転し、100ミリの正面装甲、88ミリ砲が与えられた重戦車。重装甲と重火力による重量増加で、機動力の低下など問題はあったが、当時の連合軍将兵に「タイガー恐怖症」を与えた。諸説あるが、まほが搭乗する車輌番号「212」は、ドイツ軍戦車兵エース「ミハエル・ヴィットマン」がおもに搭乗していた車輌と言われている








ティーガーⅡ

ティーガーⅠをベースに、さらに重装甲、重火力となった発展型。外観はパンター戦車に似ているが、駆動系などはティーガーⅠの改良型が採用された。また車体や砲塔には傾斜装甲を取り入れ、主砲はティーガーⅠと同じ88ミリながら71口径と強化。その火力と装甲は、防御戦において比類なき強さを誇った。とくに180ミリの正面装甲により、正面から対抗できる戦車は世界中に存在しないと、登場当時は言われていた








超重戦車マウス

最大装甲240ミリ、128ミリ主砲と75ミリ副砲を備えた、ドイツ軍の超重戦車。ソビエトがKV-1やKV-2を超える戦車を投入する可能性を考慮し、それを凌駕する車輌として開発された。終戦までに、重量188トンの試作車を2輌生産。2号車は実戦に参加するが、故障による爆破処分ののち、1号車とともにソビエトに接収された

黒森峰女学園の使用戦車2



駆逐戦車ヤークトパンター

パンターの車台を利用した駆逐戦車で、正面に80ミリ装甲を30度の角度で配置。高い防御力を実現した。またティーガーIIと同様の71口径88ミリ砲を搭載。パンター譲りの機動性をもち、駆逐戦車として高性能であった。ただ、定数を満たしての配備・運用をされることが少なく、戦線への逐次投入で消耗していくこととなった



重駆逐戦車エレファント

選考に漏れたポルシェティーガーの、先行納品されていた車台と装甲板を流用して開発された駆逐戦車。正面装甲200ミリ、88ミリ砲を搭載した車体の駆動装置は、ポルシェティーガーと同様、ガス・エレクトリック式（現代のハイブリッドエンジン）が採用されている。また撃破された車輌も少なく、運用側からの評価も高い



パンターG型

東部戦線で対峙したT-34戦車に衝撃を受けたドイツ軍が、主力であったIII号戦車やIV号戦車にかわる新たな中戦車として開発。傾斜装甲を導入し、走破性を高めるために履帯の幅を広くしたうえで、76.2ミリの強力な主砲を採用している。とくに第二次大戦中のドイツ軍戦車にあって、走攻守のバランスが良く評価も高い戦車である



III号戦車J型

ドイツ軍が、スペイン内戦での実績や戦車を用いた演習などの経験を元に開発した戦車。無線を全車に装備し、火力の増加を見越した設計がされている。とくに、砲塔に砲手・装填手・車長の三人が乗りこむ前提の設計は、当時としては画期的だった。そのため、同戦車はドイツ戦車の基礎となった



IV号駆逐戦車/70(V)ラング

パンターと同様の70口径75ミリ砲を、IV号戦車の車台に搭載した駆逐戦車。当初、名称は「IV号戦車ラング（ラング＝長い・長砲身の意味）」であったが、長砲身型のIV号戦車と紛らわしいため、70(V)と口径が付加された。駆逐戦車隊としてだけでなく通常の戦車隊などにも配備されており、長砲身の戦車として扱われていた



駆逐戦車ヤークトティーガー

ティーガーIIを元に、傾斜角75度の250ミリ前面装甲と128ミリ砲を搭載した重駆逐戦車。3000メートルの距離から敵戦車を撃破するため、ティーガーIIとほぼ同時に開発された。ただ重量70トンと重い車体は運用に支障を招き、撃破されるより放棄・自爆処分が多かった。しかし同戦車を撃破できる火砲は、当時の連合国側になかった

グレゴール高校

Gregor High School

大阪府にある阪南港を母港とする奈良県の学校。日本の陶器や漆器はヨーロッパで人気が高く、その輸入のためチェコ人貿易商が来日していた。その貿易商が日本各地を巡った結果、最終的に欧州向けの漆器を生産する施設を、奈良に建設したのが学校の始まりである。

また、近隣地域には陶器の生産も多いほか京都や大阪も近く、さまざまな輸出品を入手しやすかった。しかし奈良には港が無いので、阪南港を便宜的に母港とした。

さらに、こうした各種商品だけではなく日本の文化も輸出され、武士道がチェコで人気となった。その影響で、日本の文化を学びに来るチェコ人も増加。そこで学園艦に、チェコ人が日本文化を学び、日本人はチェコ文化を学ぶ国際交流科が作られ、重要な学科となった。その一環として戦車道も積極的に行われている。

主力戦車はLT-35、LT-38軽戦車。またIII号N型が少数あり、火力不足を補うためにLT-38にヘッツァー改造キットを使用して戦力強化を検討している。だが予算が不足しており、1輌のみしか改造されていない。



LT-35

1935年、チェコで制式化された戦車。変速機や操向装置に圧搾空気を利用した作動方式を採用しており、当時としては画期的なものであった。ただし操作性は向上したものの、構造が複雑だったため故障が多発。砲塔内にも車長しか入れず、一人で指揮・装填・射撃を行わなければならなかった。それでもドイツによるチェコ併合後、35(t)としてドイツ軍に愛用された

写真提供：グランドパワー（ガリレオ出版）

青師団高校

Blaue Division High School

青師団高校の使用戦車


T-26

フランシスコ・ザビエル以来、南蛮貿易や天正遣欧使節団の派遣など、日本とスペインの関係は古くからあった。その縁もあり、平戸や御宿町、石巻など各地にスペインとの交流施設が作られた。スペイン系の学園艦購入が決定した時も、多くの地域が名乗りを上げ、三重県と宮城県が最後まで争った。その際に多くのトラブルが発生。最終的に三重県や宮城県でなく、和歌山県下津港が母港となった。ただし三重県と宮城県の一部が支援を行っており、毎年定期的に学園艦が三重県の志摩半島や宮城県の石巻に立ち寄っている。青師団高校では正式に戦車道の科目がなく、有志が集まって戦車道を行っている。選択科目として認められていないにも拘らず活動は活発で、黒森峰と定期的に交流戦を行っている。また自発的に始めたためか、その熱意は全国随一。何の見返りも求めないことから、他校から一目置かれている。

保有戦車は、長らく軽戦車が中心。内訳はⅠ号戦車、Ⅱ号戦車、CV35、T-26、BT-5で、戦力的にはT-26とBT-5が主力であった。そのなかでも珍しいのが、スペインの国産軽戦車・ヴェルデハ。ヴェルデハⅠは防御力強化のため、エンジンをフロントに設置。ヴェルデハⅡでは多くの戦車と同じく後部にエンジンが置かれた。ヴェルデハⅠは1000輌の量産が予定されていたが、予算不足やエンジン入手が困難で、初期生産分のみで量産は中止された。ヴェルデハⅡは試作のみで、同校が保有する同車は、車体にアメリカやドイツのエンジンを搭載した物であるという。ただこうした布陣である以上、対戦相手に恵まれれば一回戦を突破できるかもという程度の戦力でしかない。そこでⅠ号戦車に20ミリ機関砲を搭載する改造や、75ミリ砲を備えた自走砲の計画もあった。ところがどのような交渉があったのか、H型を中心としたⅣ号戦車と、雑多な型のⅢ号戦車、Ⅲ号突撃砲を入手。戦力が大幅に強化されたため、軽戦車の改造計画は中止された。軽戦車中心の頃から優れた操縦手が多いのを生かした機動突破戦術を好み、とにかく速度を重視する。新たに入手したⅢ号突撃砲も待ち伏せではなく、正面装甲の厚さと主砲攻撃力の高さを生かして、突破戦力の中心に据えている。ときどき独創的すぎる作戦が立案され、ノリで実施されることが多い。その作戦がうまくはまれば快進撃を行うが、堅実で粘り強い戦いをする相手には弱い。ただ、意外にもあきらめが悪いというか切り替えが早く、ひとつの作戦にこだわらず柔軟に対応して、何としても勝利しようとする粘り強さもある。

生徒の気質は、陽気で好奇心旺盛で開放的。会話を好み、全体的におしゃれである。学園艦自体はあまり予算がないのに、それをほとんど気にしていない。芸術家気質の生徒も多く、美術や音楽、演劇などの芸術活動が活発で、アンツィオ高校と双璧をなす。同様に、学園艦の建築物にもこだわっている。また美食家でありつつ会話を楽しむので、食事にとても時間をかける。ただしマイペースで時間にルーズなので、約束の時間に遅れることも珍しくない。好き嫌いがはっきりしており、その違いから喧嘩になることも。ただ喧嘩をしても、いつの間にか仲良くなることも珍しくない。後まで引きずらないというか、細かいことに拘らないのである。食事の繋がりで、ワッフル学院やアンツィオ高校と交流がある。三校合同の食のイベントが行われた際は、非常に盛り上がり、定期開催が内外から望まれている。

T-26

元々、ソビエトで1931年に開発された戦車。初期型は7.62ミリ機関銃を2丁装備した双砲塔型だったが、すぐに37ミリ砲の単砲塔に換装。1933年には、45ミリ砲が搭載された。スペインへは1936年に起きた内戦時に、ソビエトから共和国側へと提供され、ファシスト側のドイツ・Ⅰ号戦車を圧倒。1937年には砲塔側面を傾斜させ、防御力が大幅に強化された

写真提供：グランドパワー（ガリレオ出版）

連載小説

聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡

聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

鈴木貴昭

第5回



死中に活路を求めて

「ついてないわね、運命の女神は簡単にはほほ笑んでくれないみたい」
「そうですね、せめて市街戦かボカージュでの戦いだったら」
「ボカージュは、縁起が悪いです」
　黒森峰との試合会場を決めるルーレットの針が指しているところを見て、試合前に整列した聖グロリアーナの生徒たちは、口々に愚痴をこぼす。
　聖グロリアーナ側としては、黒森峰と対戦するのは、こっそりと近付けるような、見通しが悪くて遠距離砲撃も難しい障害物が多い地形か、そうでなければ、少なくとも軟弱な地盤で、重量級の黒森峰の車輌が動きにくい地形が対戦場所として望ましかった。
　だが、無情にもルーレットが示している試合会場は、砂漠戦であった。
「よりによって砂漠か」
　アッサムが肩を落とす。
「せっかく、新車輌の車検と登録も間に合ったのに」
「書類を揃えるのが大変でしたね」
　オレンジペコもため息をついた。

　試合会場となった砂漠ステージは、ある程度の起伏はあるが場所によっては極めて見通しがよく、黒森峰の車輌なら、視界さえ通っていれば平気で2000メートル先からでも有効弾を送り込んでくる。また、履帯幅が広いティーガーなどのドイツ戦車は、砂漠でも意外に機敏に動くことができた。そして、少しでも動けば砂煙が上がるので、遠距離からでも発見が容易と、黒森峰にとって非常に有利な戦場と思われた。そんな試合会場では、苦労の末に何とか準備した巡航戦車も遠距離で発見され、撃破されてしまいかねない。ましてや、聖グロリアーナの主力である速度の遅い歩兵戦車では、勝ち目はないと考えるのも無理はなかった。



聖グロリアーナで一番車輌数が多いマチルダIIの速度は、カタログスペック上は、路上で24キロ、不整地なら自転車程度の14キロしか出ない。聖グロリアーナの整備担当が十分に手を入れた車輌でも、路上26キロ程度が精一杯である。

その代わり、砲塔全周や車体前面上部の装甲は75ミリ、車体側面上部も70ミリと、26トン程度の小さな車体にしては、十分な装甲が施されている。

ダージリンが使用しているチャーチルVIIは、同シリーズの中でももっとも装甲が厚く、正面装甲は152ミリにも達し、側面装甲でもマチルダIIを上回る95ミリにもなる。だが、ただでさえ遅い速度はカタログスペック上は、路上で20キロを上回る程度。不整地では13キロまで落ちる。それでも整備担当の献身的な努力とたゆまぬ改良によって、エンジン出力はアップされ、ギア比の変更や各部の調整で加速力と瞬発力は向上。路上でも瞬間的には、マチルダIIとほぼ同じ26キロが発揮可能となっている。

一方、黒森峰のフラッグ車であるティーガーIは、57トンという重量級の車体に相応しい重装甲と、強力な88ミリ砲を装備しているにも関わらず、マイバッハHL230エンジンが絞り出す700馬力により、路上で38キロ、不整地でも20キロで走行する。真偽のほどは不明だが、よく整備されている黒森峰の車輌は路上で、45キロを記録したという話もある。実際、過去の戦いで路上を走る聖グロリアーナのマチルダIIが、路外から追ってきた黒森峰のティーガーIから逃げるどころか、追い越されて撃破されたことすらあった。45キロは単なる噂ではなく、ある程度の真実だと

聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡

聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

第5回



聖グロリアーナの誰もが思っている。

　恐ろしいことに、ティーガーⅠより強力なティーガーⅡですら、ティーガーⅠとほぼ同等の速度を発揮。中戦車のパンターに至っては、カタログスペック上は、路上で46キロ、不整地で24キロとなっている。さらに黒森峰の車輌では路上55キロ、不整地30キロという、不整地ですらマチルダⅡの路上速度以上を叩き出している。

　カタログ上ではわずか数キロの違いにしか見えないが、基本的にはつねに走り回っている戦車道では、この違いは意外と大きい。いかに早く相手を発見・接近し、最適な位置から攻撃をするか。それには少しでも速度が優れているほうが有利であった。

　さらに最高速度も大切だが、それ以上に重要となるのが、ある程度までの速度に達する加速力と、すぐに動ける瞬発力であった。たとえ、最高速度が60キロの戦車があったとしても、そのスピードに達するまでに1時間もかかるようでは意味が無い。

　最高速度は少々遅くとも、素早く加減速ができて、俊敏に動けることこそが重要で、各校とも少しでも性能を上げようと、整備関係者が努力を続けている。

　戦車道では長時間稼働する必要はなく、極論を言えば試合の間だけ動けばよかった。試合用の車輌は、レースカーのように極限まで切り詰められるものは切り詰め、エンジンも限界ぎりぎりまでチューンを行っているのが普通であった。

　そのため軽量化の一端として、チャーチルⅦには80数発の砲弾が搭載可能だったが、通常は砲弾を半数程度まで減らしている。実際の試合では、すべてを撃ち尽くすことはまずあり得ないからだ。

　燃料は６８２リットル搭載可能だが、満載にすると５００キロ程度となる。これもそれなりの重量だが、さすがに燃料まで削る学校は少ない。

　と言うのも過去の試合で、ある学校が少しでも機動性を上げるために、砲弾も燃料もぎりぎりまで減らしたことがあった。ところが試合中に砲弾と燃料切れで次々と戦車が擱座して行き、逃げ回っていただけの弱小校に、一方的な敗北をしたという事例があったからである。

　その反省から燃料は、各校ともある程度余裕を持つようにしており、また強制力はないが運営側からも、試合開始時は60％以上の燃料を入れるように、と勧告されている。

　このように戦車の性能差を埋めるために、各校ともさまざまな工夫とたゆまぬ努力を続けているが、それでも元々の性能差をひっくり返すのは難しい。

　これで主砲がそれなりに強ければ、速度で劣っていても、多少は対策の立てようもあった。だが聖グロリアーナの車輌は、黒森峰相手にはドアノッカーにしかならない2ポンド砲と、それよりは多少はましな75ミリ砲しか搭載していない。

　それに対して、黒森峰側の砲力は圧倒的で、高速徹甲弾を使ったパンターなら、１０００メートルの距離からチャーチルの分厚い正面を抜くのも不可能ではない。

　それどころか、長砲身88ミリ砲を装備したティーガーⅡならば、高速徹甲弾ではなく、威力の劣る通常徹甲弾で軽々と正面を抜いてしまう。

　一方、チャーチルの75ミリ砲では、５００メートルまで近付いても、パンターの正面装甲を抜けるかどうか怪しい。

　機動性があれば、装甲の薄い側面や後方を狙えるが、速度や機動力が劣っている以上、よほどうまく運用しない限り、黒森峰の戦車を撃破することは難しい。

　黒森峰とのあいさつを交わして、それぞれの車輌置き場に移動する間に車輌リストを確認すると、その圧倒的な戦力差に大きくため息をつくオレンジペコ。

「ティーガーⅠ、ティーガーⅡ、パンター……」

「ヤークトティーガーは出てこないのね？」

「はい、重量級は決勝戦に温存するみたいです」

「まぁあれだけの車輌、何度も動かしたら、いくら整備が優秀でも大変なことになっちゃうわよね」

　のんきな口調のダージリンに、つい口調が硬くなるオレンジペコ。

「ヤークトティーガーがいなくても、前から分かっていたことですが、装甲も速度も砲力も向こうが上。スペック上はこちらが勝てる要素は、ほとんどありません」

「そうね、確かに車輌だけを言えば、うちに勝ち目はないわ」

　平然と答えるダージリンに、アッサムが続けて口を開く。

「だからせめて、試合会場に望みをかけていたのですが……」

「戦車道は戦車のスペックだけじゃないわ」

　どこに勝算があるのか、平然としているダージリンに、オレンジペコの口調が不安に染まる。

「乗員の腕でスペック差を埋めるのでしょうか？」

「黒森峰は、西住流の支援を受けていて、練度も全国屈指です」

　アッサムがダージリンのセリフを先回りするように呟く。

黒森峰が対戦相手となってから、聖グロリアーナの戦車道幹部であるノーブルシスターズの間では、同様の会話がほぼ毎日繰り返された。いや、ここ数年は聖グロリアーナのみならず、どこの学校も最大のライバルは黒森峰と考え、どのように打倒するかが最大の争点であった。

それが昨年の大会では、プラウダ高校が天候と地形、そして黒森峰側の僅かな隙と幸運に恵まれ勝利を収めた。

戦力が劣っていても地形と天候を味方につければ、勝てるかもしれないと期待した。だが会場に選ばれたのは砂漠、しかも天気は快晴。どうしても勝てるとはアッサムには考えられない。

ところが、運営から受け取った地図をじっと見つめていたダージリンが小さくほほ笑む。

それを見て、問いかけるオレンジペコ。

「作戦はどうしますか？」

「アンツィオと大洗」

予想もしなかった回答に、一瞬きょとんとするアッサムとオレンジペコ。

「アンツィオというと、囮作戦ですか？」

「それもあるわね」

「あるんだ」

アッサムがちょっと呆れるのを無視して、ダージリンが話を進めていく。

「サンダース、そしてアンツィオでの大洗の勝利、その原因は何かしら？」

「練度？」

「機動力？」

「違うわね」

アッサムとオレンジペコの回答を、一言で切って捨てるダージリン。少し考え込むアッサム。

「戦車の性能……大洗側はアンツィオ戦はともかく、サンダースには劣っていた」

「大洗の勝利の要素は三つ」

三本の指を立てるダージリン、その指を見つめるアッサムたち。

「ひとつは、入念な偵察」

「確かに練習試合でも、西住さん自ら偵察をしていました」

「アンツィオ戦なんて、5輌中2輌も偵察に出してましたね」

「そう、みほさんは西住流とは思えないほど偵察を大事にするの。おそらく、去年の試合の反省か、それとも本人の性格なのかは分からないけど」

言われて、試合の様子を思い出すオレンジペコ。

「極めて慎重です」

それに頷くと、薬指を折るダージリン。

「それが二つ目、慎重かつ大胆な行動よ。とにかく偵察を重視しているけど、行動は迅速に、そして思い切りよく。サンダース戦で狙われていると分っていても、車輌を停止させて命中率を上げるなんて、なかなかできないわ」

「味方を救うために、敵中突破とかもしていましたね」

「そう、まさに一に大胆、二に大胆、三も大胆、よ」

「三四が無くて、五に大胆なんじゃないの？」

「それは違います」

静かに考えていたアッサムがぼそっと呟くと、間髪を入れずに突っ込みを入れるオレンジペコ。

それを苦笑しつつ、中指を折って、人差し指だけを残すダージリン。

「三つめは地形を徹底的に味方に付けること、最後に臨機応変」

「四つあるんだけど」

「どこかの宗教裁判みたいです」

「まあ、そういうこともありますわね」

口調は平然としているが、よく見ると頬が赤くなっているダージリン。

いい事を言っていたのに、肝心のところで締まらないと思いつつ、いつの間にか緊張が薄れているのに気が付くオレンジペコ。

「まさか……いえ、気のせいですね。そろそろ試合開始ですよ。結局作戦はどうしますか？」

「とにかく、私たちも大洗を見習って、なりふり構わず、全力でフラッグ車を叩くわよ！」

「当たり前の作戦ですね」

「グリーンが見つけて来てくれた、黒森峰の弱点をつけば、私たちにも勝機は巡ってくるわ」

「黒森峰に、弱点なんてあるんでしょうか」

「あるわ」

自信に満ちた笑顔を浮かべるダージリン。そして整列している聖グロリアーナの生徒たちに号令を下す。

「全員搭乗！　目標はただ一輌、西住まほのフラッグ車！」

『了解！』

力強く応答の声が返ってくる。

それを受けて、さらに声を大きくするダージリン。

「敵は間違いなく、遠距離から砲撃を仕掛けて来るでしょう。何があっても脚を止めないように、とにかく前進して相手のフラッグ車に食らいつきなさい！」

『了解！』



「勝利への道は見つける、なければ作るのよ！」

一斉に上がる歓声を受けて、オレンジペコがぽつりと呟く。

「ハンニバル、ですね」

「ああ、リドリー・スコットの」

「象を連れてアルプスを越えた、ローマ最大の敵のほうです」

アッサムの的外れな感想に、落ち着いた声で正解を伝えるオレンジペコ。アッサムやオレンジペコも、平然としていたダージリンの態度に、試合前の緊張が完全に消え去っているのを感じていた。

ダージリンがハッチから上半身を出し、試合開始の合図とともに、大きく振り上げ

聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡

聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

第5回



た右手を前に勢いよく倒す。

それを見た左右のクルセーダーが、一気に加速し、扇を開いたように広がっていく。

続いて、一輌のマチルダⅡがダージリンを追越し、先頭に立つ。すぐさま、先頭のマチルダⅡに続くダージリンのチャーチル。その後には、次々と等間隔でそのほかのマチルダⅡが追走する。

「ニルギリ、どう?」

時計をじっとみていたダージリンが、最後尾にいるニルギリに隊列の状況を確認すると、すぐさま応答がやってきた。

『こちらニルギリ、今、移動を開始しました』

それを聞いて、車内からオレンジペコが確認を入れる。

「全車輌、問題なく移動を開始しましたね」

「ええ、このまま目標ポイントまで進むわ」

「でも、敵はどこに?」

「クルセーダーが見つけてくれるのに期待ね。おそらく黒森峰は、見通しの良い高地に陣取るんじゃないかしら」

それを聞いて、地図の上のあちこちに定規を置くオレンジペコ。少し調べた後、多少自信なさそうに意見を述べる。

「このまま進んで、射線が通りそうなところは……えーっと、80高地と、65高地、そしてこの120高地ですか」

それを聞いて、一瞬手元の地図に視線を落とし、事前にチェックした自分の地点と同じなのを確認。ほほ笑むダージリン。

「恐らくね。しかもその高地に向かうルートをうまくとれば、高地自体が邪魔になって、こちらからは砂煙も見えない」

「それは向こうも同じでは」

「そうね、お互い見えないわ。でも、速度では向こうが上、私たちが先に高地を確保するのは難しいわね」

「それでクルセーダーを?」

「ふふっ、どうかしら?」

小さくほほ笑むと、全車輌に指示を出すダージリン。

「全車、単縦陣で前進! つねに装甲正面を相手に向けなさい!」

スタート地点はオアシスになっていて、それなりに緑がある。その前には小さな丘があり、試合会場に続く道はその丘を回り込むように、ふもとをゆるやかに曲がっていた。

その道を、丘からわずかに進むと、そこはもう砂漠地帯であった。

しかし、そこに広がっている地形は、砂漠という言葉から予想していたように、すべてが砂で覆われているわけでも、どこまでも見通せるほど平らでもなかった。全体にうねった地形は、結構な起伏に富んでおり、地面も柔らかい砂ではなく、無数の小さな石が転がっており、まばらにわずかな草がへばりついている。

「思ったほど、埋まりませんね」

装填手側のハッチから顔を出すと、砂漠



地帯に入ったのにも関わらず、各車輌の速度があまり落ちないのに驚くオレンジペコ。
　それを聞いて、軽く片方の眉を上げるダージリン。
「あら、砂漠戦は初めてだっけ？」
「はい、砂浜での戦闘だけです。あれは大変でした」
　白魚のような指を軽く頤に当てると、少し考えるように首を傾げるダージリン。
「ああ、砂浜だと結構履帯が埋まるものね」
「砂漠も同じだと思っていました」
「砂漠の大部分は、こうした岩石砂漠だもの」
「え、よくTVで見るような、何もない砂丘が延々と続くんじゃないんですか？」
「砂の砂漠は、砂漠全体でいったら2割くらいといったところね」
「そうなんですか」
「とはいえ、地図からおそらく岩石砂漠だとは思っていたけど、私も実際にこの目で見るまでは、どちらの砂漠になるか自信が無かったわ」
　そういうと、楽しそうに笑うダージリン。そこに静かにカップを差し出すオレンジペコ。
「紅茶です」
「あら、ありがとう」
　受け取ると、ゆっくりと香りを楽しむダージリン。
「うーーん、良い香り。これは……アールグレイかしら？」
「はい、秋摘みのダージリンにベルガモットで香りを付けてあります」
「まぁ、今回はどんなコンセプトなの？」
　オレンジペコが選ぶ紅茶は、毎回その時にあった理由がある。それを確認するダージリン。
「ベルガモットの鎮静効果で、ダージリン様がつねに冷静でいられるように、と。そして、ドイツの紅茶メーカーの葉を選んだので、黒森峰を飲み干してしまおうと思いました」
　それを聞いて楽しそうに笑うダージリン。
「なら、みんなにもふるまって上げて」
「はい！」
　ティーカップをアッサムに、紅茶のポットを車体の前席へと渡すオレンジペコ。
　しばらく紅茶の芳香が車内を満たし、試合中とは思えないリラックスした空気が生まれていく。
　そこに、ぽつりと口を開くオレンジペコ。
「どっちのほうが良かったんですか？」
「何が？」
「砂漠の状態です」
「……そうねえ、本当は砂の砂漠で、風が強いほうが良かったかもしれないわね」
「お互い視界が確保しにくいからですか？」
「足回りが悪いから、黒森峰の速度の優位性はかなり失われるわね……。でも、この試合会場なら岩石砂漠で打つ手はあるわ」
　そう言われて、手元の地図に視線を落とすオレンジペコ。
　その間に、ダージリンは双眼鏡をあちこちに向ける。だが、その視界には先行したクルセーダーもすでになく、黒森峰の車輌が起こす砂煙も見えない。
　ちらっと時計を見て、地図の上で尺取り虫のように指を動かして、黒森峰の予想位置を考える。
　同じように地図を見つめていたオレンジペコが、観念したように地図から視線を上げてダージリンに聞いてくる。
「この地図だと北に海があって、南が低地、

聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道　第5回

聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡

その間が砂漠、砂漠の中に先ほどの高地があります」
「ええ、おそらくその低地と砂漠の間は、急峻な崖になっているはず」
「崖？　地図ではそこまで描かれていません」
「この試合会場のモデルが、私の想像と同じだったら、そうなっているはずよ」
「すみません、良くわからないのですが」
「戦車道はね、過去の試合会場を調べておくのも重要なの。大会ができる場所はそんなに多くないわ。毎回、戦車道連盟が、ある程度地形を変えるとしても……」
「そんなに大きくは変わらない？」
「その通り。ただ、問題はそろそろ黒森峰が高地を確保する頃ね」
　時計をちらっと見ると、通信用のマイクを取り上げるダージリン。
「全車、そろそろ攻撃が来るわ。発煙弾準備、前方の高地を警戒しなさい」
　そう伝えると、オレンジペコに車内に入るように視線で指示する。それを受けて、小さくうなずくと体を車内へと滑り込ませるオレンジペコ。
「そろそろ？」
　アッサムが一瞬だけ、視線をオレンジペコに向けて聞いてくる。
「はい、おそらく前方の高地のどこかに出てくると思います！」
「了解！」
　照準器を覗き込むアッサム。
　緊張した空気が車内に流れる。
　自分の息を呑みこむ音が大きく響いた気がして、思わず周囲を見回すオレンジペコ。
　そこに、のんきなダージリンの声が飛び込んできた。
「おかしいわね？」
「はい？」
　思わず聞き返すオレンジペコ。
「時間的には、もうとっくに高地に現れてもいいはずなのに……砂煙すら見えないわ」
　双眼鏡を高地だけではなく、その周辺にも動かしていく。
「全車警戒を厳にして。予想時間になっているけど、黒森峰が現れないわ。マチルダ4から6は、目標高地以外も索敵を」
『了解！』
　ちらっと後続の車輌に視線をやるダージリン、慌ただしく双眼鏡が左右に動いているのを確認すると、笑みを大きくし、ついで自分も地図から想定される出現地点を確認して行く。
　ゆっくりと双眼鏡を移動させると、視線の端にかすかな煙のような物がよぎるのが見えた。
「！」
　慌てて視線を戻すと、やはりかすかな煙、いや土埃が見えた。
「敵発見、65高地左下、全車戦闘準備！」
　全車に伝えると同時に、砲塔内に体を滑り込ませるダージリン。
「アッサム、目標65高地左下、ペコ、弾種徹甲！」
「了解、目標確認、距離２４００！」
「初弾装填済み！」
「撃て！」
　ダージリンの指示と同時にトリガーを引くアッサム。
　その瞬間、多数の砲弾が飛来した。
　アッサムの撃った1発に対し、少なくとも10発は撃ち返された。しかも初弾から次々と命中し、悲鳴のような通信がダージリンの元へと入ってくる。
『マチルダ1号車、撃破されました！』
『マチルダ2号車、砲撃されています！　至近弾』
『マチルダ5号車、履帯損傷！』
『こちらニルギリ、少なくとも敵は前方と左右から砲撃していると思われます！』
　最後尾のニルギリから、破壊された車輌の被弾方向を見て、砲弾がどこから来たかの報告が来る。
「完全に頭を押さえられています！」
　報告が入ると同時に、手にしたカップをオレンジペコに押し付けると、急いでハッチから顔を出すダージリン。
　戦車が巻き上げる砂塵と砲撃でできた煙で、視界は急速に悪化して行く。
「これで命中率は落ちるはず、全員落ち着きなさい！　ライン・フォーメーション、全速！」
　パニックに陥りかけていたマチルダが、ダージリンの指示で落ち着きを取り戻し、一斉にエンジンを全開にする。
　チャーチルを中心に、後方に続いていたマチルダⅡが、左右へと広がっていき、横一線の隊形を組む。
　それを確認すると、次の指示を出すダージリン。
「ニルギリ、先行しなさい。できるだけ派手に砂煙を上げて蛇行しながら！」
　敵発見によって、虎の子のクロムウェルの投入を決定するダージリン。それに応えて、ニルギリの乗ったクロムウェルは一気に加速する。不整地での最高速は28キロだが、この固く締まった地面では、路上に近い速度が発揮可能である。カタログスペック上の最高速度61キロに迫る勢いで加速、一挙に砲弾が飛来する最前列へと躍り出る。
　その速度のまま、派手に車体を振って、猛烈な砂煙を上げていくニルギリ車。
　次々と指示を出すダージリン。
「マチルダ3、マチルダ4、カーニバル作戦開始！」
『マチルダ3了解』
『マチルダ4了解！』
　ダージリンの指示に従って、横隊の左右の端にいたマチルダⅡが、隊列から離れて加速、同時に車体の後ろに乗せていた枝の束を落として、ロープで引きずり始める。
　引きずられた枝から、もうもうと立ち上る砂煙が、まるで砂嵐のようになっていく。
　とどめとばかりに、各車輌の砲塔横に取り付けられた発煙筒発射機から、一斉に発煙筒が打ち出され、先行したクロムウェルの周辺に濃密な白い煙が降り注ぐ。
　視界が一挙に悪化し、黒森峰からの砲撃も、先行するクロムウェルに向けて飛んでいく。
「砂で髪がざりざりするわ」
「戻ったらお風呂に入らないとダメですね」
「汗に砂がへばりついて、気持ち悪い」

「でも、これで相手からは見えないわ。全車付いてきなさい！」
　大きく左へと進路を変更するダージリン。残りの車輌がついて来ているのを確認すると、地図と地形を照らし合わせる。
「もうすぐのはずだけど」
　大きく身を乗り出して、左側に双眼鏡を向けるダージリン。左を走るほかの車輌からも、車長が顔を出し、双眼鏡を覗きこむ。
　一方、右側の車輌は先行するクロムウェルを観察、砂煙と煙幕の影に隠れるように車輌を操っていく。
　だが、見えていないはずの黒森峰からの砲撃で、櫛の歯を抜く様にマチルダⅡが脱落していく。
「まぐれ当たりでもやられるなんて」
「仕方ないわ、とにかく今は進みなさい」
　静かに目を閉じ、戦機を待つダージリン、そこにダージリンが待ち望んでいた報告が、一番左側を走っていたマチルダⅡから飛び込んできた。
『目標地点発見！』
「来たわね！」
　それを聞いて、笑みを大きくするダージリン。
「よろしい、メルティングポット作戦開始！」
『了解！』
　ダージリンが指示を出すのと同時に、左右のマチルダⅡが一挙に減速、さらに大きく進路を左へと変更し、地図に載っている低地へと向かう。
　低地と砂漠の間はダージリンの読み通り20メートルほどの断崖となっているが、その中に何ヶ所か戦車が通れる程度の溝が穿たれている。
　ダージリンが求めていたのは、その溝であった。
　減速しているマチルダⅡを追い抜いて、溝の中へと先行するダージリンのチャーチル。その後には、一列に並んだマチルダが続く。
　後続車輌を確認するダージリン。
「……付いて来ているのは5輌ね……」
「4輌やられました」
「想定内ね」
「はい、ぎりぎりですが」
「クルセーダーからの報告は？」
「まだありません」
　先行させたクルセーダーは目標に達するか、撃破された時以外通信をしないように伝えてある。
「便りが無いのはいい知らせ、とは言うけれど、状況が見えないのはもどかしいわね」
「そうですね」
　溝を下りきると、そこは今までの岩石砂漠とは異なり、粉のような砂で覆われている。
「ここからは、移動速度が大幅に落ちるわ。ところどころに、塩沼が隠れているから注意して。側面攻撃を受けないように、崖の下ぎりぎりを移動します！」
『了解！』
「ほら、ペコの見たがっていた砂の砂漠よ」
「これがそうなんですね……」
　ダージリンに呼ばれて、ハッチから顔を出すオレンジペコ。そこには、オレンジ色の砂丘が広がっていた。
「どうしてそんなに、地形が分かるんですか？」
　砂丘を見つめながら、不思議そうに尋ねてくるオレンジペコ。
「言ったでしょう、過去のどの試合会場を想定しているか、って」
「それで、今回はどこなんでしょうか？」
「恐らく、ここはカッターラ低地を想定してあるの」
「？」
「そして戦場のモチーフは、エル・アラメイン！」
　エル・アラメイン。
　それは、エジプト北部にある港湾都市で、エジプト第二の都市アレクサンドリアの西106キロに位置し、エジプトの最終防衛ラインでもあった。
　そこで、エジプトを死守しようとするイギリス軍と、エジプトから中東へ向かうドイツ軍が激突したのであった。
「私たち聖グロリアーナと黒森峰が激突するには、とてもいい舞台だと思わない？」
　それを聞いて、ニヤリと笑うアッサム。
「そうね、そろそろ反撃に出ましょう」
「あ、あの、その戦いはどうなったんですか？」
　オレンジペコの質問に、いたずらっぽい笑みを大きくしたダージリンが、楽しそうに答える。
「エル・アラメインではね、それまで負けに負けていたイギリス軍が、一挙に反攻に出てドイツ軍を粉砕したのよ」
　砂に足を取られつつ、注意をしながら進む聖グロリアーナの車輌。
「ニルギリは、うまくやったかしら？」
「連絡が無いところをみると、おそらく」
　囮として先行させたニルギリのクロムウェルには、敵に発見されたら派手に引き付けて、海側へと移動。視界が遮られた時点で、今度は逆に姿を隠して密かに敵陣方面に移動するように伝えてある。
　そして、クルセーダーの偵察結果を待つように、と。
　作戦を成功させるためにも、この低地を早く抜け、敵の後ろを突かねばならない。
　しかし速度を上げると砂に足を取られ、下手をすると隠れている塩の沼に埋まりこんで、試合終了まで脱出不可能にもなりかねない。はやる心を抑えるダージリン。
　車長席から前方の様子を観察し、安全なルートを指示し続けるダージリン以下、チャーチルの車内は緊張に包まれている。
「音がします！」
　オレンジペコの声が張りつめた空気を破る。
「!?」
　瞬間、前方の崖の角から何かが飛び出してきた。
　とっさに主砲のトリガーを引くアッサム。こんなところで遭遇するのは味方ではありえない。
「弾かれた!?」
　照準一杯に飛び込んできた砂漠塗装の車体。その正面に確かに命中したはずなのに砲弾は弾かれ、あらぬ方向へと飛び去って行く。
「パンターです！」
「別働隊!? 向こうも同じことを考えていたのね。アッサム、手当たり次第に撃って！ペコ、弾種はすべて徹甲！」
「了解！」
「はい！」
「こんなところで足止めされるわけにはいかないのよ！」
『ダージリン様、私たちが道を作ります！

聖グロリアーナ女学院✕黒森峰女学園への道

第5回



『先行してくださいっ！』

後続のマチルダⅡ2号車から切迫した通信が飛び込んでくる。

「!!」

『迷っている暇はありません！　臨機応変ですよね！』

「そうね、任せるわ！」

『了解！』

先頭のパンターと撃ち合いを続けていると、後続のマチルダⅡ5輌が砂に足を取られるのも構わずに加速し、楔形隊形を組んでパンターの集団へとぶつかるようにねじ込んでいく。

車体をぶつけつつ、無理矢理に突き進み、撃破されつつもパンター集団の中央に、一本の道を作り出す。

『行ってください！』

「了解！」

マチルダⅡによって作られた道を、一挙に加速して突き進むダージリンのチャーチル。同時に砲塔を旋回させ、手当たり次第にパンター集団の側面や後方へと砲弾を叩き込むアッサム。

猛烈な勢いで、砲弾を装填し続けるオレンジペコ。

パンターの砲塔正面はチャーチルの砲弾をはじくほど厚いが、側面や後部は45ミリしかない。ぶつかりそうなほどの至近距離では次々と抜かれ、白旗が上がっていく。

もっともこの距離ですら、マチルダⅡの2ポンド砲は、パンターの砲塔側面を抜けないのだが。それでもお互いに撃ち続け、パンターとそれに続くⅣ号駆逐戦車を足止め



する、マチルダII。その間をすり抜けていくチャーチル。最後に残った、慌てて方向転換をしようとしていたIV号駆逐戦車の後部に砲弾を叩き込み、加速してその場を去るダージリンのチャーチル。

　猛烈な戦場音楽が鳴り響いていたのが、急速に静かになり、チャーチルのエンジン音だけが響き渡る。

「付いて来る車輌は？」

「ありません」

「……そう」

　ひとつため息をつくダージリン。

「予想以上に砲弾を使ったわね」

「はい40発積んだのが、もう半分以上使っています」

「正確な残弾は？」

「少々お待ちください……」

　残弾を数えるオレンジペコ。

「次はもう少し砲弾を積んだほうがいいわね」

「すみません、なかなか撃破できなくて」

　アッサムが申し訳なさそうに謝ってくるのを、不思議そうに見るダージリン。

「あら、どうして謝るのかしら？」

「でも、もっと正確に当てることができれば……」

「少なくともパンター3輌、駆逐戦車2輌を撃破したんだから、十分よ」

「……はい」

「確認できました。残弾、被帽付徹甲弾8、低抵抗被帽付徹甲弾2！」

　それを聞いて、少し眉をひそめるダージリン。

「次は一発必中を狙うしかないようね。頼んだわよ、アッサム」

「はい！」

「でも、今の戦いで黒森峰は我々の位置を掴んだのでは」

　オレンジペコが心配そうに聞いてくる。

「キャプテン・ホランズを知っていて？」

「えっと、あの」

「確か、昔の英国戦車道の……」

　突然、予想とは違うダージリンの問い掛けに、しどろもどろになるアッサムとオレンジペコ。

「キャプテン・ホランズはね、英国戦車道のエースのひとりで、たった1輌になったにもかかわらず、奇跡の逆転勝利を収めた隊長なの」

「1輌で？」

「ええ、敵が岩山の上に陣取って、そこからの攻撃で、率いていたほかの車輌は全滅したの。けれど、それでもあきらめずにチャーチルの登攀能力を生かして、峻険な岩山をよじ登り、頂上にいた敵部隊とフラッグ車を殲滅したのよ」

「不屈の精神ですね」

「そう、キャプテン・ホランズはチャーチル1輌だったけど、私たちにはそれ以外にクロムウェルに、マチルダとクルセーダーが2輌ずつもあるのよ、十分に戦えると思わない？」

　それを聞いて、笑みを浮かべるアッサムとオレンジペコ。

「はい！」

「では、戦車前進！　目標、黒森峰フラッグ車！」

第5回 不肖・秋山優花里の戦車講座



史上最大の上陸作戦を成功に導いた ユニークな工兵戦車たち

ノルマンディ上陸作戦などで大活躍した、工兵戦車の歴史と発展を徹底解説。その頼もしくて個性的な実力をご紹介したいと思います！

工兵戦車ってなに?

皆さん、お月見していますか? 中秋の名月にはウサギさんチームのM3も良いのですが、三式中戦車も似合うと思う秋山優花里です。

さて今回は、とっても特徴的な外観を持つ個性派戦車、『工兵戦車』をご紹介したいと思います。とはいっても、『工兵』と言われてもよく分からない人が多いですよね?

そもそも『工兵』とは建築作業を行う人々。おもな装備は、工事現場で使うブルドーザーやショベルカー、そして障害物を破壊する爆薬だったりします。それに戦車などが渡れない川や堀に、橋を架かけたりするのも大事な仕事です。ただ普通の工事と違うのは、銃弾飛び交う危険な戦場で工事を行わなければならないのです。とても危険な作業ばかりですので、銃弾を跳ね返す戦車は、『工兵』にとってもぜひひとも欲しい装備。できればブルドーザーなどを装甲で覆いたい！

対戦車壕や窪地に戦車を通すために通路を作る方法は、戦車にとって切実な問題でしたので、戦車の元祖、菱形戦車「Mk.Ⅳ」でも木材の束を落として壕を埋めたりと、いろいろ考えられていました。しかし、戦車はとっても高価な装備。どこの国でも必要性は分かっていても『工兵』にまで戦車はなかなか廻ってきませんでした。

砂浜は戦車に大敵

しかし1942年、工兵戦車の必要性が高く認識される出来事が起こります。連合軍によるフランスへの反撃上陸作戦、『ディエップ急襲』です。有名な〝史上最大の作戦〟、ノルマンディ上陸に先立つ2年前に行われたこの〝ジュビリー作戦〟は、カナダ軍の一個師団を基幹に、約6000人の小規模な作戦で、その最大の目的は、敵前上陸の予行演習にあったと言われています。

なぜ〝最大の目的〟かというと、ほかにもドイツのレーダーの奪取とか、実戦経験の無いカナダ軍のためとか、ごちゃごちゃと目的がいろいろと追加されたからであります。『作戦目的は単純に』の原則から外れているのであります。

さて、上陸地点に選ばれたのはベルギーとノルマンディのほぼ中間にある港町ディエップ。港があれば戦車や弾薬の荷揚げが便利！ そこで港近くの海岸に上陸し、港湾施設を早期に確保する計画でした。そして上陸部隊を援護するため、ダージリンさんの愛車「チャーチル歩兵戦車」も参加したのであります！

しかし、上陸に成功した「チャーチル」は海岸でつぎつぎに故障。ディエップの海岸は砂ではなく玉砂利で、パワーがうまく伝わらず履帯が切れる戦車が続出したそうです。

チャーチル AVRE

チャーチル Mk. Ⅲや Mk. Ⅳをベースに開発された車輌で、工兵戦車の草分け的存在。海岸線に構築された頑強なトーチカや、障害物の破壊に使用された。短くて不格好な砲身から「空飛ぶゴミ箱」とも呼ばれた臼砲は、約18キログラムの榴弾を発射した。ただし先込式のため、装填では乗員が車外に出る必要があった

写真提供：グランドパワー（ガリレオ出版）





シャーマン・クラブ

地雷処理車輌の先駆けとなった工兵戦車。長い鎖が付いた巨大なドラムは「マイン・フレイム」と呼ばれ、ドラムを回転させて鎖を地面に叩きつけることで、地雷を誘爆させた。ただし地雷撤去には大きな威力を発揮したものの。ドラムを回転させると猛烈な砂煙を立てるため、作業中は砲口に砂が入らないよう、砲塔を後ろに向けなければならなかった

写真提供：グランドパワー（ガリレオ出版）

一応、砂浜に通路を作るための、戦車の前面にカーペットを巻いた、糸巻き機(ボビン)を持ったタイプも数輌が作られていて、ロール状のカーペットを敷きながら通路の開設には成功。しかし、このカーペットを通ってなんとか動けた戦車も、護岸堤防などのコンクリート障害物に邪魔され、内陸に進めずモタモタしているところをつぎつぎと撃破されてしまいます。上陸作戦に参加した37輌の「チャーチル」は全滅。上陸作戦自体も大失敗に終わってしまいました。急勾配を上れる「チャーチル」も砂浜では勝手が違ったようです。偵察不足、準備不足で投入された「チャーチル」歩兵戦車がかわいそうであります。

イギリス生まれの工兵戦車たち

惨憺たる結果に終わった『ディエップ急襲』でしたが、ただでは転ばぬイギリス。フランスへの上陸作戦を成功させるための特殊戦車、『工兵戦車』の開発を本格的にスタートさせます。第2回でご紹介した水陸両用の「DD戦車」もこの一つであります。

工兵戦車にはさまざまな種類がありますが、代表的な戦車をご紹介。まずは「チャーチルAVRE」。AVREは装甲工兵戦闘車の略字で、「チャーチル」戦車の砲塔に290ミリの先込式の臼砲を装備。この砲の射程はたった70～80メートルですが、大口径ですので火薬をたくさん詰めた砲弾が発射できます。『ディエップで戦車の邪魔をした障害物をこの砲で吹き飛ばします！

またAVREは、前面にさまざまなアタッチメントが付けられる便利仕様。たとえば車体前面に、ディエップでも役立ったボビンを、更に大型化して搭載可能。その姿から「ボビン戦車」とも呼ばれました。

同じくチャーチルの車体を使った工兵戦車に、「架橋戦車」があります。砲塔を撤去し9メートルの橋を搭載。堀や小川に短時間で橋を架けてしまいます。もっと幅広い窪地には、戦車自体が侵入し前後にランプを広げ、戦車自らがが踏み台になる「ARK」という車輌も開発されました。

ほかにも砲塔はそのままに、車体前面に火炎放射器を搭載した「クロコダイル」火炎放射戦車も開発。装甲が厚いうえに、車体が大きく内部も広い「チャーチル」歩兵戦車は、改造母体には最適の車輌だったのですね。

そして、やっかいな地雷を破壊するために作られたのが「シャーマン・クラブ」です。戦車の前面に巨大な鎖(チェーン)を付けた回転筒を搭載。グルグルと鎖を回転させ、地雷を叩き誘爆させてしまいます。ガシャンガシャンと凄い音がしたそうです。こちらの母体はアメリカ製のM4シャーマンですが、北アフリカでM4を現地改造した「スコーピオン」地雷処理戦車が原型だそうです。砂漠の狐、ロンメル将軍は戦車戦だけではなく、地雷の使い方も巧みだった事はエルヴィン殿が力説するところであります。

それはさておき、これらの工兵戦車達は『ディエップ急襲』の教訓を活かしつつ、どんな状況が発生するか、何が必要かを地道に研究して対処方法を考え開発されました。空挺に水陸輌用戦車、そして工兵戦車。一見、突飛なアイデアを地道な研究で実用化させたら、イギリスの右に出る国はありません。

ホバートの楽しい奴ら

これらの工兵戦車たちをまとめて開発・運用していたのが第79装甲師団。その師団長は前回ご紹介しましたイギリスの戦車男、パーシー・ホバート殿であります。

ホバート殿は戦前から戦車万能主義を唱えて、イギリス上層部から煙たがられ、第二次世界大戦勃発時には退役させられていました。ひどいですよね。そこをウィンストン・チャーチル首相が抜擢！　はりきったホバート殿は工兵戦車の開発と訓練に情熱を注いだのであります！

しかし、これらの「ノルマンディ・スペシャル」ともいえる特殊戦車達は、当時の常識からはかけ離れた奇抜なデザインで、本当に役に立つのか？　と疑問に思われていたのも事実。あとから参戦したアメリカだけではなく、イギリス国内からも批判する声は絶えませんでした。

そこで第79装甲師団は〝ホバーズ・ファニーズ＝ホバートの楽しい奴ら〟という、やや皮肉を込めたニックネームを与えられます。しかし、そんな事を気にするホバート殿ではありません。逆にアメリカへ『工兵戦車』の供与を持ちかけ、「DD戦車」以外は、ブラッドレイ将軍に断られたりしています。そして、その実力は1944年6月6日に試されることになります。

そうです、ザ・ロンゲスト・デイ。ノルマンディ上陸作戦であります!!

ノルマンディでの大活躍！

前回失敗したディエップから西に約100キロメートル。ノルマンディ地方の砂浜に上陸を開始した連合軍、その数のべ33万。これだけの陸上部隊が海を越えて敵地に上陸するのは史上初めてのことでありました。

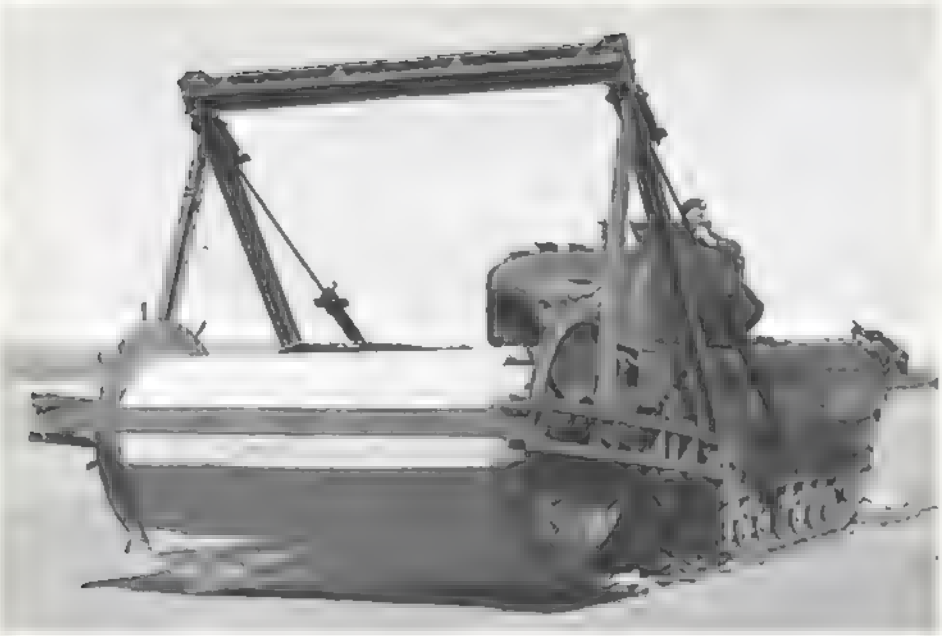
「DD戦車」の時もご紹介しました



クロコダイル火炎放射戦車

第二次世界大戦時、イギリスで約800輌が生産された戦車。チャーチル Mk. VIIの派生型で、燃料タンクと窒素ボンベを搭載したトレーラーを牽引する。火炎の射程は、およそ80～100メートルあまり。また前方機銃を火炎放射ノズルと換装したことから、チャーチル Mk. VIIの75ミリ砲も、そのまま使用可能であった

写真提供：グランドパワー（ガリレオ出版）



チャーチル・カーペットレイヤー

砂地など軟弱な地面にカーペットを展開して、戦車が通行可能な通路を作る工兵戦車。「チャーチル・ボビン」とも呼ばれている。ジュビリー作戦に投入されたカーペットレイヤーは、アームの強度不足が指摘されていた。しかし、丈夫な布で軟弱な地面を覆うアイデア自体は採用され、ノルマンディ上陸作戦では改良型が活躍した

写真提供　グランドパワー（ガリレオ出版）

が、アメリカ軍の半数が上陸したオマハ・ビーチはドイツの守備隊も健在で大苦戦！　なんとか上陸に成功したシャーマン戦車も、遠浅の砂浜とドイツが築いた妨害用の障害物に邪魔され、思うように戦えませんでした。

一方、オマハより東側に上陸したイギリス軍は、地雷原や障害物を、第79装甲師団から分派された工兵戦車達がなんなく排除し、内陸への通路を開設。目標の街、カーンへの道を開きます。ホバート殿は鼻高々だったことでしょう。その実力を疑問視していたほかのイギリス部隊も賞賛を送り、〝ホバーズ・ファニーズ〟の名は勇名へと変わります。

上陸戦後、イギリス側はアメリカも工兵戦車の供与を断らなければ、損害を減らせたのに意地張るからだ、と非難することになります。もっともアメリカ側が供与を頼んだアンチ・タイガーの切り札「ファイアフライ」は、イギリス側が断ったりしているんですが。

それはさておき、ホバート殿が手塩にかけて育てあげた工兵戦車達はそのあとも活躍し、ノルマンディからライン川までの各地の戦いで、縁の下の力持ちの役割を発揮したのであります。

その後の工兵戦車

ホバート殿には工兵戦車を「要らない！」と断ってしまったアメリカでしたが、やはりノルマンディの結果を見て反省したのか、1944年11月に工兵戦車の開発をスタートさせます。母体に選ばれたのはもちろん「M4シャーマン」、これが「T31デモリション」であります。

105ミリ榴弾砲を装備した砲塔の両脇に180ミリ・ロケットランチャーを装備。障害物破壊用のロケットは5発入りの円筒型に収められているので、毎回、人が砲弾を込める単発先込の「チャーチルAVRE」よりも便利そうです。なによりも大砲が3つ並んだSFに出てきそうな外見は、一度見たら忘れられません。ただ、その完成は第二次世界大戦終了後になります。

そして第二次世界大戦後、工兵戦車は必要不可欠な装備として世界各国で開発が行われました。

障害物破壊用の臼砲を装備したタイプは、M60を母体としたアメリカの「M728」戦闘工兵車をはじめ、世界各国でいろいろな種類が開発されていきます。加えて多くの国では、戦車の前面にドーザーを装備できるタイプを開発。簡単な土盛りや穴掘りは戦車自身でできるようになりました。

また、戦後ドイツの「ダグズ」工兵戦車や、陸上自衛隊の「施設作業車」のように、ドーザーだけではなく伸縮式のショベルアームを装備し、より高度な土木作業を行える戦車まで登場しています。現代は工兵戦車の黄金期といえるかもしれません。

ただ、冒頭でも述べましたように、工兵戦車の必要性は、戦車の登場時から求められていたのも事実です。ただ、余裕が無かったのであまり生産されませんでしたが、多くの国でチャレンジが行われています。

たとえば、イタリアの豆戦車「CV33」には、小型ながら架橋戦車が作られました。またドイツでは380ミリ・ロケット臼砲を積んだ自走砲「シュトルム・ティーガー」が開発されています。これはスターリングラードの戦訓から、強固なコンクリート陣地を攻撃するために作られた戦車で、考え方は「チャーチルAVRE」に似ていますよね。それに戦前の日本でも、さまざまな工兵装甲車が作られていました。

しかし、大規模に「工兵戦車」を投入し、戦局を左右するほどの活躍をさせたのはイギリスにほかなりません。やはり、ホバート殿と第79装甲師団〝ホバートの楽しい奴ら〟こそが、現代の工兵戦車のパイオニアだったと言えるでしょう。

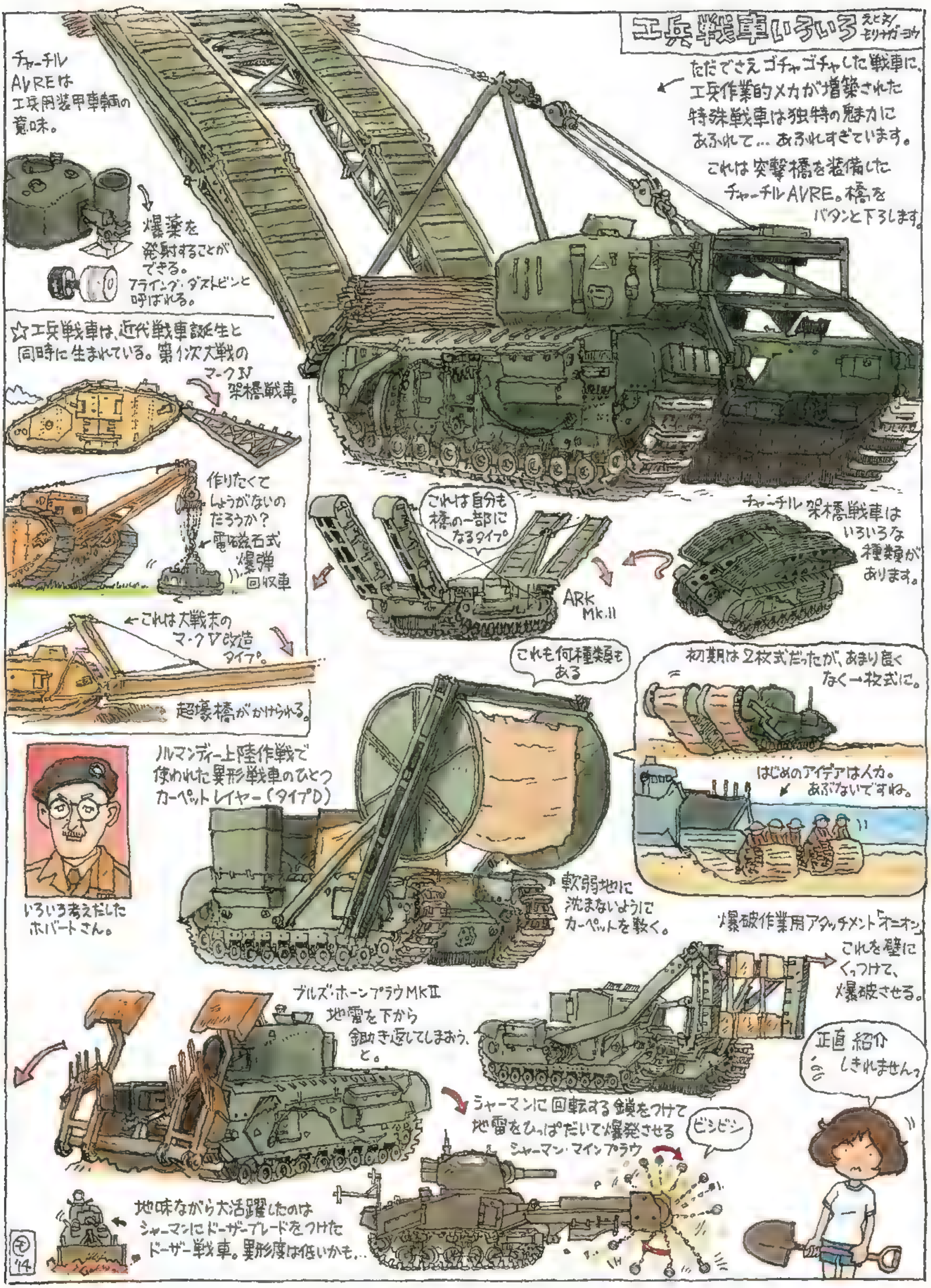
いかがでしたか？　外見がとっても個性的な『工兵戦車』の歴史と魅力、ご理解いただけましたでしょうか？　それではまた、次回の戦車講座でお会いしましょう！

ドイツの多彩な天才 ポルシェ博士

革新的なドイツ戦車を開発したポルシェ博士は、オーストリア出身の工学技術者であった。ウィーンの電気機器会社（現ブラウン）に勤務したあと、元馬車会社に移り電気自動車を開発。その後も複数の自動車メーカーで活躍した。そして独立後、転機となったのはドイツの国民車である、フォルクスワーゲンの開発と成功。これにより、ドイツの総帥・ヒトラーの意向を受け、キューベルワーゲンや戦車の設計に携わった。とくにポルシェティーガーでは、動力に先進的な発電駆動方式を採用。これは、現代のハイブリットエンジンに先駆けるものであった。ちなみに「博士」とは自動車メーカー時代のあだ名で、同僚から敬意を持って呼ばれていた。



マウスやポルシェティーガーを手がけたポルシェ博士は、ドイツ敗戦後に戦争犯罪人として収監された。だが息子の尽力もあり、今なおポルシェの名前は、世界中で輝きを放っている



工兵戦車いろいろ
えとぶん/モリナガ・ヨウ
ただでさえゴチャゴチャした戦車に、工兵作業的メカが増築された特殊戦車は独特の魅力にあふれて…あふれすぎています。
これは突撃橋を装備したチャーチルAVRE。橋をバタンと下ろします。
チャーチルAVREは工兵用装甲車輌の意味。
爆薬を発射することができる。
フライング・ダストビンと呼ばれる。
☆工兵戦車は、近代戦車誕生と同時に生まれている。第1次大戦の
マークⅣ架橋戦車。
作りたくてしょうがないのだろうか?
電磁石式爆弾回収車
←これは大戦末のマークⅤ改造タイプ。
超壕橋がかけられる。
これは自分も橋の一部になるタイプ。
ARK Mk.II
チャーチル架橋戦車はいろいろな種類があります。
これも何種類もある
初期は2枚式だったが、あまり良くなく→1枚式に。
はじめのアイデアは人力。あぶないですね。
ノルマンディー上陸作戦で使われた異形戦車のひとつカーペットレイヤー(タイプD)
いろいろ考えだしたホバートさん。
軟弱地に沈まないようにカーペットを敷く。
爆破作業用アタッチメント「オニオン」
これを壁にくっつけて、爆破させる。
ブルズ・ホーンプラウMkII
地雷を下から掘り返してしまおう、と。
正直紹介しきれません。
シャーマンに回転する鎖をつけて地雷をひっぱたいて爆発させるシャーマン・マインプラウ
ビシビシ
地味ながら大活躍したのはシャーマンにドーザーブレードをつけたドーザー戦車。異形度は低いかも…
モ '14

語る KATARU

第5回 カモさんチーム



I ♥ PANZER 大洗女子チームメンバー 戦車愛を

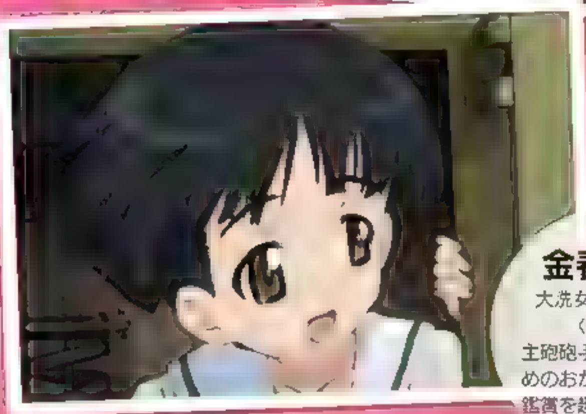
SENSYA AIWO



園 みどり子
大洗女子学園 3年
〈普通科〉
車長・副砲砲手・装填手。チームを率いる、真面目な風紀委員長



後藤 モヨ子
大洗女子学園 2年
〈普通科〉
操縦手。我慢強い性格の持ち主で、やや長めのおかっぱ頭が特徴



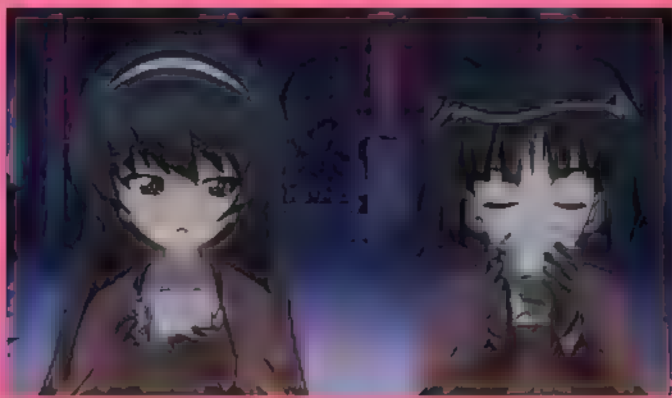
金春 希美
大洗女子学園 2年
〈普通科〉
主砲砲手・装填手。短めのおかっぱで、映画鑑賞を趣味にしている

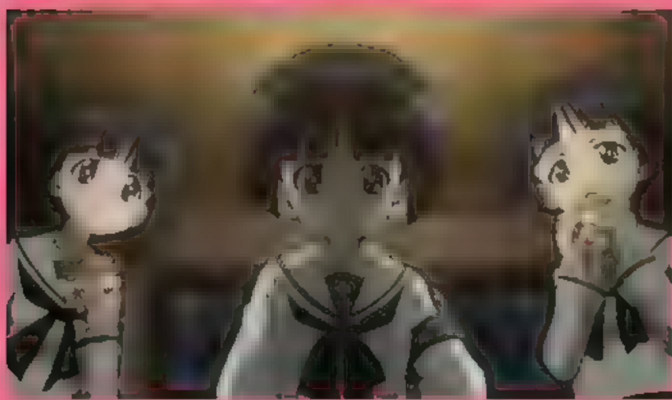
たった3人でB1 bisを
操るカモさんチーム。
風紀委員である彼女たちが
戦車道を履修した理由や
戦車への愛情を思いっきり
ご本人たちに
語ってもらいました。



「風紀のなかに隠しきれない風紀がにじむ、つまり風紀委員オブ風紀委員なのよ！」







先 自動車部員の戦車整備録

カモさんチームの車輌？

あれは時間も無かったし、あんまりいじってないな～。本当は、車体側面のラジエーターグリルを何とかしたかったんだけどね。ほら、あれって明らかな弱点じゃない？

あそこに直撃喰らったら、一発で動かなくなるんだもんね。まぁ、重装甲って言っても、大洗のなかではってレベルだから、強豪校相手だったら正面から抜かれちゃうような程度だしね。その程度しかないなら、グリルをどうこうして防御力強化しても、手間と時間ばっかりかかっちゃう。それより半分水没していたんだけど、車体下の脱出ハッチが開いていたから、なかに泥が結構溜まっていて、その掃除が大変だったなー。結局、降ろせる物は全部降ろして、しっかりと洗浄して、錆取りして、ペンキも塗り直ししたよ。旋回性能と操縦性は悪くないから、エンジンの出力をちょっとアップさせたから、そこそこ動けるようにはなったと思うよ。何でもあの戦車の改良型だと、350馬力出す計画だったんでしょ？ だったら、そのくらいまでチューンしても問題ないと思ってさ。多分、400馬力出しても大丈夫だと思うし、今度時間があったらエンジン自体を積み替えてみたいね。車体のスペースは結構あるし、結構大きなエンジン載せられると思うな。その時は、ラジエーターの位置も変えちゃいたいね。それこそ、改良型ってB1 terとか言うんでしょ？ あれみたいにしたらいいんじゃないかな。ま、全部予算と時間次第だけど。あとは軽量化と装甲と主砲の強化？

そのあたりも予算次第だね～。

ウサギさんチームの車輌と同じで。ああ、そうそう、ほかと違って主砲の装填手が乗らないって言うから、主砲弾の位置をちょっと変えたんだ。砲手が装填しやすいように、本来の砲弾ラックとは別に仮設ラックを付けて、それと即応弾が置ける場所を作って、数発ならすぐに撃てるようにしたのは、大きなポイントかな。



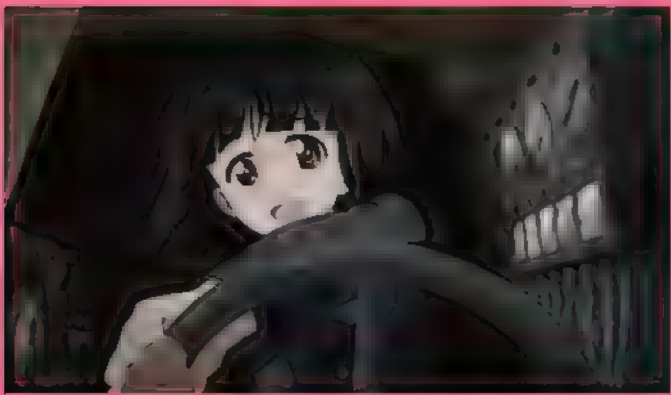
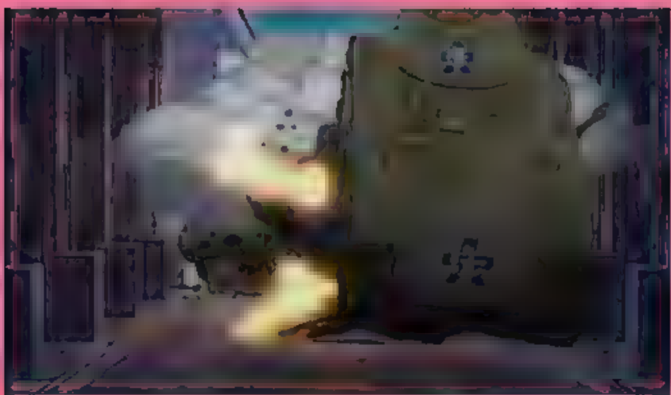
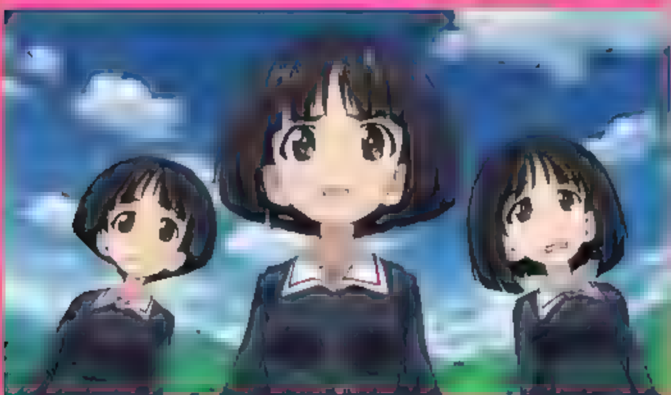




大洗女子学園 3年
自動車部所属 ナカジマ談

風紀委員を目指すべきだわ！」
ゴモヨ「やっぱり良く分かんないよ」
そど子「え、あ、そうだったっけ？」
パゾ美「さっき自分で言ってたよ？」
ゴモヨ「カモみたいでかわいいの？」
パゾ美「マウスに撃たれて回ったときはびっくりしたよね」
た方がいいんじゃない？」
ゴモヨ「装甲は結構あるのかな？」
パゾ美「そうそう、重装甲だって聞いたよ」
そど子「バレー部の八九式とかに比べたら装甲は厚い
ゴモヨ「なんかあんまり強くなさそう……」
そど子「確か、1年生のM3よりましな程度だって
ゴモヨ「あ、形も何となく似てる気がする
パゾ美「それそれ、主砲が車体に固定されているとか

パゾ美「なのにあっちは6人」
ゴモヨ「こっちは3人」
ゴモヨ「うん」

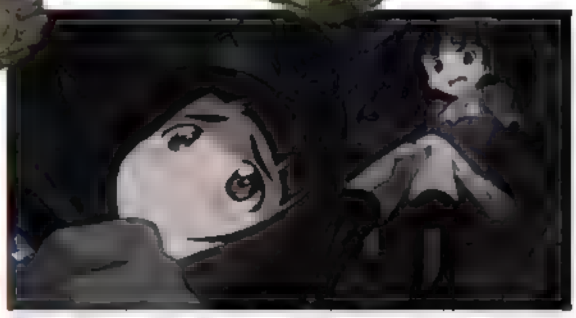

自分たちのできることに一生懸命

生真面目な風紀委員が集まったチームだけに、戦車道に対しても真摯に臨んでいた。その証拠に決勝戦では、不良っぽいといいながらも、蛇行運転しながら煙幕を展開。目の前に現れたマウスに果敢な突撃を敢行するなど、自分たちができる精一杯の行動を取っていた







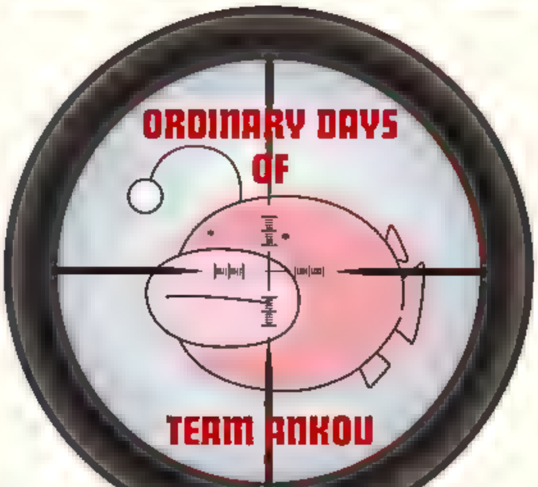


準決勝からいきなり試合に投入

角谷会長の依頼とはいえ、初試合が強豪のプラウダ戦となったカモさんチーム。試合会場が雪原ということもあり、操縦もおぼつかなかった。だが麻子の手助けもあり、短期間で操縦のコツを習得。試合ではフラッグ車の護衛を務め、相手戦車の動きを逐一報告した



大洗女子学園チームの日常



第五話
「ハムになる勉強です!」

大洗女子学園が戦車道全国大会の一回戦を突破したころ、ひとりの選手が密かに煩悶していた。

「このままでいいのかな〜?」

武部沙織は、部屋でひとり呟く。

深い悩みというわけではない。しかし、どうもすっきりしない。通信手・沙織は果たすべき自分の役割について考えていた。確かに一回戦では、携帯メールの早打ちという自分の特技を活かすことができた。でも、あれはあくまでレアケースだ。無線の傍受などそうそうできるものではない。

華や優花里は日々腕を上げている。麻子にいたっては最初から高い操縦技術を発揮し、そのうえ磨きをかけている。そして車長、隊長としてのみほの能力に疑いの余地は無い。そんな中で、自分は何を伸ばせばいいのか。

「ねーみぽりん、次の試合までに私、何を練習すればいいかな?」

あるとき沙織は、みほにこう訊ねた。

「えっと……沙織さんは、無線周波数の切り替えもスムーズだし、無線でチームメイトに声をかけるタイミングもいいし、今のままで十分だと思うよ」

みほの答えは沙織を気遣ったわけではなく、本心からのものだった。しかし、沙織は食い下がる。

「んー、なんていうか… こうもっとパシッとみんなの役に立ちたいんだけど、何かない?」

「うーん……。みんなが今どこにいて、どっちに向かってるかを常に把握してもらえるとすごく助かるかな?」

「わかった、それ明日から気を付けてみるね!」

こうして、みほから新しい課題を得た沙織だが、まだ何かが足りないような気がする。沙織がそう思ってしまうくらい、ほかの選手たちの成長は著しい。

そんなある日、学校帰りに寄った本屋で、沙織はある本を目にする。

『ハムになる帳』

その本の表紙には、世界地図と無線機のレシーバーが描かれていた。

「ってことは、無線に関係ある本……だよね?」

小さく呟きながら沙織は、本を手に取りパラパラとめくる。

「でも、なんでハム? ハム関係なくない? ふむふむ……アマチュア無線する人のことを、ハムって言うのね」

あるページには複雑な回路図と数式が記載されていて、また別のページには法律の条文らしきものがびっしりと書かれている。

「うわ、難しそう……」

軽いめまいを覚えた沙織は、本の冒頭に戻る。前書きにはこう書かれていた。

『アマチュア無線は、一生を通じて楽しめる素晴らしい趣味です。しかし、楽しむためには免許が必要です』

沙織の手が止まる。

「免許って……え! 無線に国家試験あるの!?」

× × ×

「で、何の用だ? 沙織」

沙織の部屋で、テーブルを挟んで沙織の向かい側に座っている麻子が淡々とした表情で問いかける。

「アマチュア無線の試験が、再来週に迫ってるの」

めずらしく、ちょっと弱気な口調



通信手として、チームに貢献したいと思う沙織。そこでアマチュア無線の資格を取ろうと一念発起するが、教本の内容は難しすぎた。そこで、幼なじみの麻子に助けを求めるのであった……。

の沙織。

「それはさっき聞いた。で、アマチュア無線の試験と私に、なんの関係があるんだ？」

「今まで1ヶ月ひとりでがんばってきたんだけど、ちょっとムリっぽいかな～って……。だから麻子お願い！　勉強手伝って!!」

必死な表情で言う沙織だが、麻子はスッと立ち上がる。

「帰る」

そのまま、踵を返して部屋を出ようとする麻子。沙織もあわてて立ち上がり、麻子の前に回った。

「なんで帰るの!?」

「当たり前だ。そういうものは自分で勉強しなければ、どのみち身につかないだろう。まあ今回は落ちるだろうが、次にがんばればいいんじゃないか？」

「友達でしょ!!」

「友達だがそれは理由にならない。というわけで帰る」

立ちはだかる沙織の脇をすり抜けて、玄関へと歩く麻子。沙織は今回は引き留めず、麻子の背後で冷蔵庫を開けた。

「わぁ、おいしそう～」

冷蔵庫の扉が開く音と沙織の声を聞いて、麻子の足が止まる。

「夏限定のネーブル＆マンゴートロピカルケーキ、麻子喜ぶと思ったのにな……2個も食べると太っちゃうかな～。まあいいや。2個とも食べちゃお♪」

言い終えて冷蔵庫の扉を閉めようとする沙織の手首を、いつの間にか玄関口から戻ってきていた麻子が、グッと掴んでいた。

「あれ？　麻子、帰るんじゃないの？」

「……」

「麻子もケーキ食べる？」

「……（コクノ）」

「一緒にアマチュア無線の勉強して、終わったら食べよっか♪」

「……ふぅ、わかった。」

こうして、麻子は沙織の国家試験の勉強を手伝うことになった。

×　×　×

「これが参考書か」

テーブルに戻った麻子は『ハムになる帳』を手に取り、パラパラとめくり始める。

「うん。麻子の分も買おうと思ったんだけど、こういうのって結構高いんだよね。来週お小遣いが入るからそのときに……」

「いや、必要ない」

最後のページまでめくり終えた麻子が『ハムになる帳』をテーブルのうえに戻し、言う。

「大体わかった」

「もういいの!?」

「ああ」

「子供のころから見てるけど、やっぱりアンタすごいわ……」

沙織は、幼馴染みの麻子がほとんど勉強らしい勉強もせず、テストで毎回好成績を叩きだす光景をずっと見てきている。しかしこうして改めて目の当たりにすると、やはり感心せずにはいられない。

「それで、沙織は何級を受けるつもりだ？」

「二級よ」

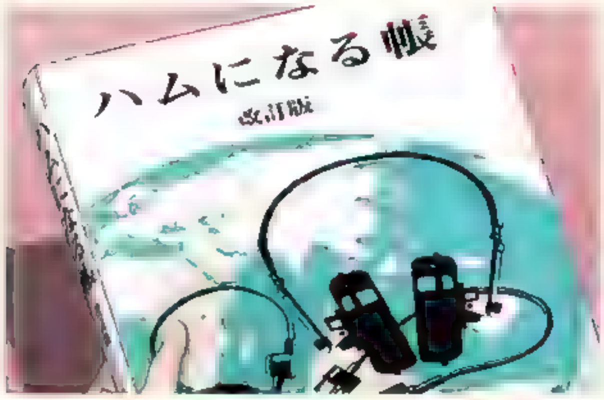
「じゃあ始めるか。まず、どこがわからないんだ。1ヶ月ひとりで勉強してたなら、得意な範囲と苦手な範囲くらいわかるだろう」

単刀直入に麻子が訊ねる。

「んー、それがね……ゆうべその本の

「ちょっとムリっぽいかな～って……。だから麻子お願い！　勉強手伝って!!」







後ろのほうに載ってる模擬テストをやってみたんだけど、2割くらいしか解けなくて」
眉根を寄せて嘆く沙織。
「合格ラインは7割正解だな。二級は一旦諦めて、三級から始めたほうがいいんじゃないか？」
「ダメ！　二級は三級と比べると全然簡単だからたぶん受かるけど、それじゃ意味ないの」
麻子の提案は妥当に思えるのだが、沙織は即座に却下した。
「みんながんばってるんだから、私だってがんばらなくちゃ」
ほほ笑みながら言う沙織を見て、麻子の表情もかすかに緩む。
「……わかった、沙織がそこまで言うなら二級でいってみるか」
沙織が麻子を頼ったのは、成績が優秀だからというわけではなく、むしろ幼馴染みだからなのかも知れない。そして麻子もまた、最初はケーキに釣られた形だが、この時点では沙織の気持ちがわかったから、本腰を入れて手伝う気になったのだろう。

×　×　×

麻子の協力を得て、沙織の試験勉強は続く。しかしもちろん、彼女たちはアマチュア無線の試験勉強だけやっているわけにはいかず、学校では授業を受け、戦車道の練習もしなければならない。
「沙織さん、大丈夫？」
休み時間。机に突っ伏して寝ている沙織が目を覚まして身体を起こすと、傍らに立っていたみほが声をかけた。
「沙織さん、大丈夫？」
その隣には華もいて、やはり心配そうにしている。
「最近ちょっと、寝るの遅くなっちゃってるんだよね」
「なにか悩み事？」
「相談に乗りますよ」
みほと華は口々に言うのだが、沙織は笑顔でこう答えた。
「最近話題の結婚式場がもうステキで、見てるとついつい遅くなっちゃうんだよね～」
「あら。沙織さんらしいですね」
「あはは」
心配していた華とみほの表情が和らいだ。
「でも決勝戦も近いし、練習時間も長くなっているから、寝不足は危ないんじゃないかな？」
「うん。ありがと、気を付けるよ」
沙織は、麻子以外の誰にもアマチュア無線の資格取得について話していなかった。内緒にしておいて、免許を手にしてからみんなをあっと驚かせたいというのがその理由だ。ちなみに別のクラスの麻子も連日授業中居眠りをしていたが、それは今に始まったことではないので、誰の注意も引かなかったらしい。そんなこんなで、アマチュア無線二級の試験日まであと10日。この日の夜も、もちろん勉強会だ。沙織は戦車道の練習が終わった後、ケーキ屋に寄って生クリームが乗っているプリンを二個買い、その足で麻子の家に向かった。

×　×　×

ここ数日は、場所を麻子の家に移して勉強会が行われていた。自分の部屋だと緊張感がなくて、集中できない気がする――という沙織の要望による場所変更である。
「150点満点中、100点か」
「20点足りない……でも法規はなんとかなりそう。丸暗記だし」
アマチュア無線の試験には大きく分けて二つの科目がある。それが法規と無線工学だ。
「問題は無線工学だな。125点満

こんなこともありました【生活編】

面倒見のいいムードメーカー



聖グロリアーナとの親善試合の朝、寝ぼすけである麻子を起こそうとした沙織。麻子の弱点を知っている沙織としては、チームに迷惑をかけまいと、麻子の面倒を一生懸命みていた



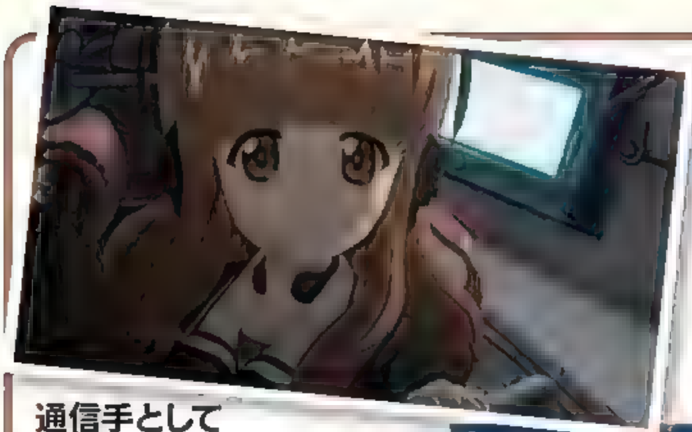


食事会で見せた料理の腕前





意外と女子力が高い沙織は、食事会などでは料理を担当。アンツィオ高校戦の前には、調理になれていないメンバーに的確な指示をだし、見事なイタリア料理の数々を作り上げた

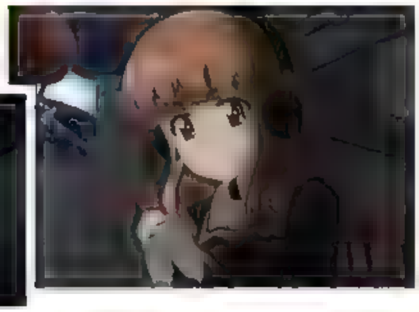


あんなこともありました【試合編】



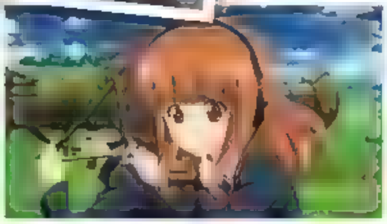
みほの心を動かした一言

渡河中に、行動不能となったウサギさんチームを心配するみほ。そんなとき、彼女の背中を押したのが沙織であった。それは転校当初、友達がおらず心細いみほに声をかけて精神的に支え続けた沙織にとって、当たり前の行動であったに違いない



通信手として高い能力を発揮

さまざまな試合を経て経験を積んだ沙織は、決勝戦でその本領を発揮。危機的な状況のなかでも、冷静なナビゲートでチームに有利な状況を作り出した。そして最後は、黒森峰の主力をまほと分断することに成功。まほとみほの一騎討ちを実現させて、優勝の隠れた立役者となった





点で20点だったぞ」

　座卓のうえには参考書のほかに過去問題集の本があり、さっきまで沙織はそれを解いていて、今しがた麻子の採点が終わったところだった。

「ん～、全然足りない……。ていうか工学全然わかんない……」

　解答方法が択一式マークシートなので、全然わからなくても20点くらいは取れてしまう。しかし合格点は87点なので、当てずっぽうで取れる20～30点ではまるで話にならない。

「この問題を、もう一度解いてみろ」

　麻子がある問題を指さす。

『図に示すLR並列回路の合成インピーダンスZおよび電流Iの大きさの組み合わせとして最も近いものを下の番号から選べ。ただし電源電圧Eを12V、コイルLのリアクタンスを30Ω、抵抗Rの値を40Ωとする』

　という設問だ。問題文の下には回路図が描かれている。沙織はノートを開き、ぶつぶつ呟きながら計算を始める。

「えーっと、Zイコール、ルートR二乗足すL二乗で……」

「違う。こうだ」

　対面から麻子が身を乗り出し、沙織のノートにサラサラと数式を書き込む。天地が逆なので、沙織はノートをくるりと回してその式を読む。

「なにこれ？　ルートのなかが分数？　なんでこうなるの？」

　読んだはいいが、ちんぷんかんぷんといった風である。

「並列だからだ」

「そんなざっくり言われても全然わかんないよ～！　そもそもね、正直言ってリアクタンスとかインピーダンスとか、いまだによくわからないんだけど……」

　沙織が嘆く。

「いいか、昨日もおとといも説明したがもう一度説明する。インピーダンスというのは、こうだ」

　言いつつノートをめくり、新しいページに図を描く麻子。その図は回路図のようでもあり二次関数のグラフのようでもあり、何とも言いがたい不可思議な図形を成している。

「ここがこうなって、こんな感じだ。わかるだろう」

「わかんないわよ！」

　沙織の理解力が足りないわけではない。麻子の理解の仕方が常人とはかけ離れているのだ。麻子は自分の理解のまま説明しているに過ぎないのだが、それが余人には理解できない。そもそも麻子は他人に何かを説明すること自体、苦手でもある。

「むむむ……じゃあ、わかりやすく描くとこうだ」

　さらに図形を描く麻子。

「ここがインピーダンスだ。そしてこっちの頂点がリアクタンスだ」

「なにがどうわかりやすいの？　ていうかこれ、リアクタンスも入ってたの？」

「当たり前だ」

「なんで当たり前なの～？」

「見ればわかるだろう？　なぜわからないんだ？」

　瞬く間に戦車の操縦をマスターするほどの能力を有する麻子だが、他人に教える能力はまた別の話だった。

×　×　×

「あー、もう、これはちょっと置いといて」

　沙織がノートを閉じる。

「あーあーあー、あーえーいーうーえーおーあーおー。あめんぼあかいなあいうえお。」

「何をしてるんだ？」

「何って、発声と滑舌の練習よ。かえるぴょこぴょこみぴょこぴょこ。お綾や親にお謝り」

「それは、アマチュア無線の試験と関係があるのか？」

「あるわよ。もし試験に受かったら、私は国家資格を持つ通信手なんだから。通信中噛んだり声が通らなかったりしたら資格が泣くわ」

　堂々と言い放つ沙織。

「そういう心配は資格を取ってからにしてくれ。というか試験勉強に煮詰まったからといって、意味不明な行動に逃げないでくれ」

「に、逃げてないもん！」

　ノートと参考書を開き、ふたたび数式と格闘し始める沙織。

「う～ん、ここがこうなって……」

「違う、そこはこう解く」

「なんでそうなるの？」

「問題にブリッジ回路と書いてあるだろう。だからこうなるんだ」

「ブリッジ回路って何だっけ？」

「こういう感じで、こうだ」

「わかんない！」

「じゃあこうだ」

「あ、ちょっとわかるかも」

　沙織と麻子の勉強会は毎晩こんな調子で、夜が更けていくのだった。

×　×　×

　決勝前夜。あんこうチームはみほの部屋に集まり、ごはん会を催していた。沙織が作ったとんかつが、テーブルの上に並んでいる。

「おいし～い！」

「カラッと揚がってますね」

「いつでもお嫁に行けますよ！」

　みほ・華・優花里が沙織のとんかつを絶賛するなか、姿勢を正して沙織が切り出す。

「……重大な発表があります」

　みほたちが一斉に注目する。

「実は私……」

「婚約したんですか？」

「彼氏もいないのに？」

「違うわよ！」

　優花里と華の憶測を即座に却下し、沙織はポケットからカードを出した。

「じゃん！　アマチュア無線二級に合格しました～♪」

　試験前最後の一週間、沙織と麻子は猛然と追い上げた。まず沙織が自力で電気工学の基礎の基礎を理解し、麻子はその応用をどうすれば沙織に教えられるのかあらゆる方法を試した。その末、ついにある程度沙織が理解できる形で教えることができるようになったのだった。みほたちが驚きと賞賛の声を上げるなか、沙織は笑顔で言う。

「いやー大変だったよー。麻子に勉強付き合ってもらって」

　みほの机に座ってとんかつを食べていた麻子もそれを受けて、

「教えるほうが大変だった」

　とひと言。

（ありがとね麻子。麻子がいなかったら、絶対無理だったよ）

　胸の内で感謝し、決勝戦が終わったら麻子にケーキバイキングをごちそうしようと思う沙織だった。

ガルパン トピックス

OVA「これが本当のアンツィオ戦です！」のイベント上映で公開された劇場版特報を始め、新アイテムの情報をお届けいたします！

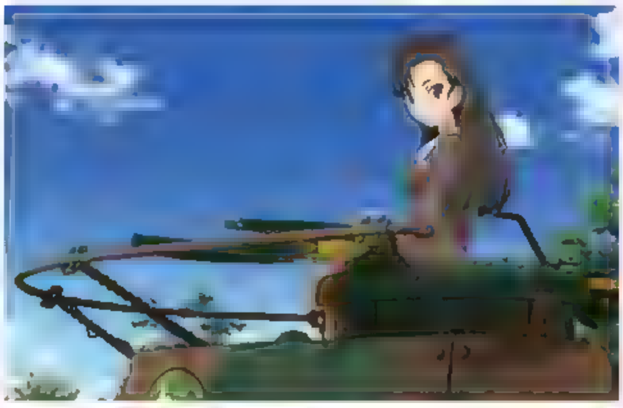
おしえてプリーズ 1 注目の新ヒロイン

知波単学園は九七式中戦車という決して恵まれない装備のなか、組み合わせによってはベスト4まで進出したことのある強豪校。全国大会後にチームを任された西絹代が、どんな戦術を発揮するのかが気になるところだ。





西 絹代





さわやかでりりしい性格の2年生。口調や態度が穏やかなタイプで、チームメイトからも慕われている。ただし、最後まで人の話を聞かないところが欠点である。なおバイクが好きで、愛車を「ウラヌス」と名づけている

特報映像に秘められた劇場版の展開を予想

全国大会優勝を果たした、大洗女子のその後を描くと思われる「ガールズ＆パンツァー　劇場版」。その特報映像には、さまざまな情報が込められている。とくに注目したいのは、新キャラクターとして登場する、知波単学園の新隊長・西絹代であろう。

全国大会では一回戦で黒森峰に敗退した知波単学園だが、なぜ彼女たちが大洗女子と並んでいるのかが気になるところ。さらにバトルでは、ダージリン率いる聖グロリアーナが大洗女子と戦っている模様なのだ。そこで今回は、これまでの取材で得られた情報を元に、劇場版の展開を予想。大洗女子のこれからを、探ってみたいと思います。

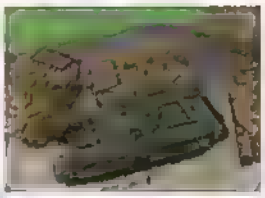
MOVIE ガールズ＆パンツァー　劇場版

おしえてプリーズ 2 気になる対戦相手

ダージリン



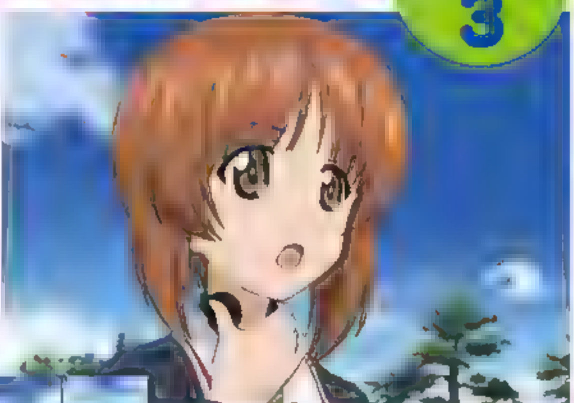






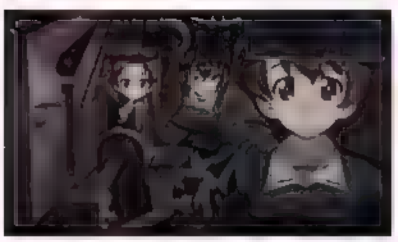
大洗女子が戦う理由 おしえてプリーズ 3

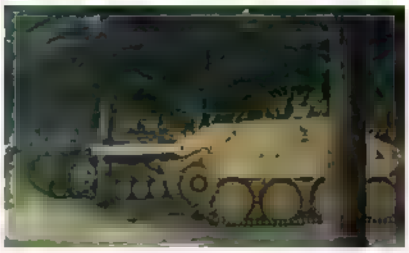
普通に考えると、全国大会を優勝した大洗女子は、世界へと羽ばたくというのが順当であろう。ただし大洗女子の実力は、実績が少ないだけにまだまだ未知数。劇場版では、新たな戦車道を見出したみほの真価が問われるに違いない。











全国大会の激戦を経て、さまざまな経験を積んだ大洗女子。困難な戦いを、持ち前のチームワークと新たな戦術で、乗り切ることができるのだろうか!?

編集部大胆予想！ 劇場版はこうなる!?

事情通からの情報を元に、本誌編集部が「ガルパン」劇場版のストーリーを推測したところ、驚くべき内容が浮かび上がった。そのあらすじは、以下のようなもの。

大洗町が霧に覆われた夜、決まって町民がひとり、またひとりと行方不明になる。その数日後、町内の路地裏で食い散らかされた惨殺死体が発見される。そして霧の夜、商店の娘・由美は、口の周りを真っ赤に染めたアライッペと路地で遭遇する。逃げるように、霧の中へと消えていくアライッペ。町民の非業の死に、アライッペが深く関与していることを確信したみほたちあんこうチームは、由美を囮に使いアライッペをおびき出す。

Ⅳ号戦車D型改（H型仕様）を駆って、水に弱いアライッペをフェリー埠頭の先端に追い詰めるあんこうチーム。そのとき、大洗沖の海中から巨大化したアライッペの母が現れ、大洗町に向かって迫ってくる。

あんこうチームの大ピンチに、大洗女子学園戦車チームが集結！　合体して巨大ロボットに変形し、母アライッペを迎え撃つ!!　果たして、この決戦の行く末は!?

（あくまで予想です）

「World of Tanks」とのタイアップ継続決定!

1年間の予定だった「ガルパン」と「World of Tanks」(以下「WoT」)のコラボが延長決定。10月1日より「WoT」公式サイトにて、「ガールズ&パンツァー TGS スペシャルパック」がアジア地区限定で配信されている。その内容は、各種戦車スキンにより「ガルパン」に登場した戦車を、ゲーム中で再現できるというもの。ぜひ「WoT」公式サイト(http://worldoftanks.asia/)にアクセスして、その内容を確かめて欲しい。

3年連続で参加決定!「第18回 大洗あんこう祭」

11月16日、茨城県・大洗町で開催される「第18回あんこう祭」では、あんこうチームの5人によるステージイベントが決定。もしかしたら劇場版に関する情報の一部が、このステージで明かされるかもしれない。また、前日15日に行われる「大洗舞祭」では、「ラジコン戦車道」が企画されているようだ。さらに大洗町側でも、皆さんがびっくりする計画を立てている模様。ファンにはたまらない展示物が、会場に登場するようだ。



※写真は去年の模様です

うるうる作戦が展開中

コンタクトレンズのハートアップに「ガールズ&パンツァー」が登場! オリジナル描き下ろしB3ポスター、スマホ壁紙が貰えるキャンペーンを開催! 11月9日まで。



応募方法や対象商品など詳しくは、キャンペーンサイトをご覧ください。http://www.heart-up.com/campaign/uruuru/

マジノ女学院の物語が秋より開始

秋山優花里の視点で描いた公式コミックの作者、才谷屋龍一先生の新たな作品が「ComicWalker」(KADOKAWA)にて秋より配信予定。タイトルは未定だが、マジノ女学院を舞台にした物語で、新ヒロインも登場する予定のようだ。

「ComicWalker」
HP http://comic-walker.com/

野上武志&鈴木貴昭の新たなコミカライズが始動!



毎月5日発売の「月刊コミックフラッパー」(メディアファクトリー)にて、「萌えよ! 戦車学校」(イカロス出版)などで知られる野上武志先生と「ガルパン」の考証・スーパーバイザーを務めた鈴木貴昭さんがタッグを組んだ「ガールズ&パンツァー リボンの武者」が連載中。タンカスロンという野試合に挑む、楯無高校の鶴姫(つるき)しずかと松風鈴(まつかぜりん)の活躍をぜひお見逃しなく!

アイテム情報

ガールズ&パンツァー 着ぐるみパジャマ あんこうスーツ



身長は約145~180センチまで対応する、男女兼用のパジャマ。ゆったりとしたフリーズ素材であたたかく、肌触りも柔らかいので、寒い季節のルームウェアとしてピッタリだ!

- ●2014年11月上旬発売
- ●6,800円(税抜)
- ●発売元:ムービック

MODELS

ガールズ&パンツァー 八九式中戦車甲型 エンディングver.



※写真は開発中のものです

本編EDで疾走したデフォルメ八九式中戦車を、手の平サイズで再現。アヒルさんチームのフィギュアがかわいい塗装済み完成品です

- ●2014年11月発売予定
- ●5,200円(税抜)
- ●発売元 ピットロード

ねんどろいど 武部沙織

- ●2014年10月発売予定
- ●4,167円(税抜)
- ●発売元 グッドスマイルカンパニー



あんこうチームのムードメーカー、武部沙織のパンツァージャケット姿でねんどろいど化。表情パーツはキュートな笑顔や、キリリとした真面目顔などを付属。さらにヘッドセット付き交換用頭部や携帯電話、通信手いす、通信機も付属しているぞ

1/35 アンツィオ高校フィギュアセット



※写真は開発中のものです

「1/35 プラスチックモデルキット」シリーズと同スケールのフィギュアキットにOVAで活躍したアンツィオ高校が登場! アンチョビ、ペパロニ、カルパッチョの3人のフィギュアセットです。アンチョビはマント+制服姿で立体化。高品質なカルトグラフ製の瞳デカールが付属
原型製作:柳生圭太

- ●2014年11月発売予定
- ●4,400円(税抜)
- ●発売元:プラッツ/RCベルグ

BOOK&NEWS PAPER

10/20よりBVCショップにてキャンセル分販売開始!!

ガールズ&パンツァー完全設定資料集



渕上舞さんによる、手書き修正台本(複製)が同梱された、B4サイズの豪華版。これまで入手できなかった方々のために、大洗町の「あんこう祭」で販売も決定!

●7,000円(税抜) ●発行 バンダイビジュアル

アニメグラフ 一冊まるごと!『ガールズ&パンツァー』

●好評発売中 ●787円(税抜)
●発行 アニメグラフLLC



B3という特大サイズと超美麗印刷で「世界一大きく、美しく」を目指すキャラクター・グラビアマガジン。等身大キャラシートを始め、杉本功さんのインタビューなど、内容もビッグサイズな一冊だ

ガールズ&パンツァー新聞

●3号 2014年11月14日発売予定
●370円(税抜) ●発行:産経新聞社



※写真は2号のものです

大洗町の損害額や、実際に戦車道の試合は可能かというユニークな検証で「ガルパン」世界に迫る、24ページのフルカラータブロイド版。3号も、企画てんこ盛りでお届け予定

ガールズ&パンツァー 戦車USBメモリシリーズ(4GB)



- ●2014年12月発売予定 ●全7種
- ●各2,500円(税抜)
- ●発売元:ファインモールド

劇中登場の戦車がちっちゃくなって、PC用のUSBメモリとして登場。あんこうチームIV号D型とアヒルさんチーム八九式中戦車が、劇中でのマーキング変遷をそれぞれ再現します。OVAでの車体ペイント「かるろべろーちぇ」「ぴよぴよ」もラインナップ!(メモリ容量4GB、Win/Mac共用)
※写真は開発中のものです

メイキングログ【プロモーション編】

第51回 静岡ホビーショー
（2012年5月19～20日）

初めてガルパンがプロモーション活動を行ったのが、この静岡ホビーショー。プラッツのブースにて、PVやヒロインの設定資料などで、ガルパンをアピールした。ただし、この時点での関心度は、決して高くはなかった。





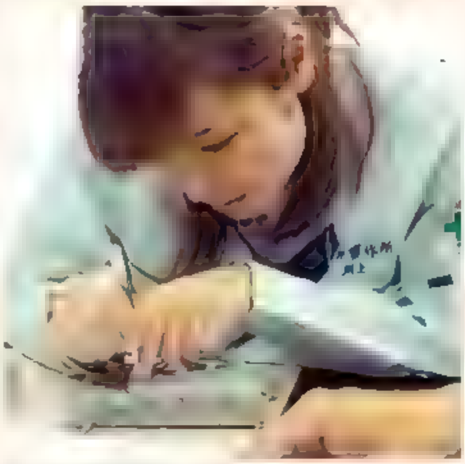
初めて披露したPVを、多くのお客さんが鑑賞。その内容に、興味を示す方も少なからず存在した





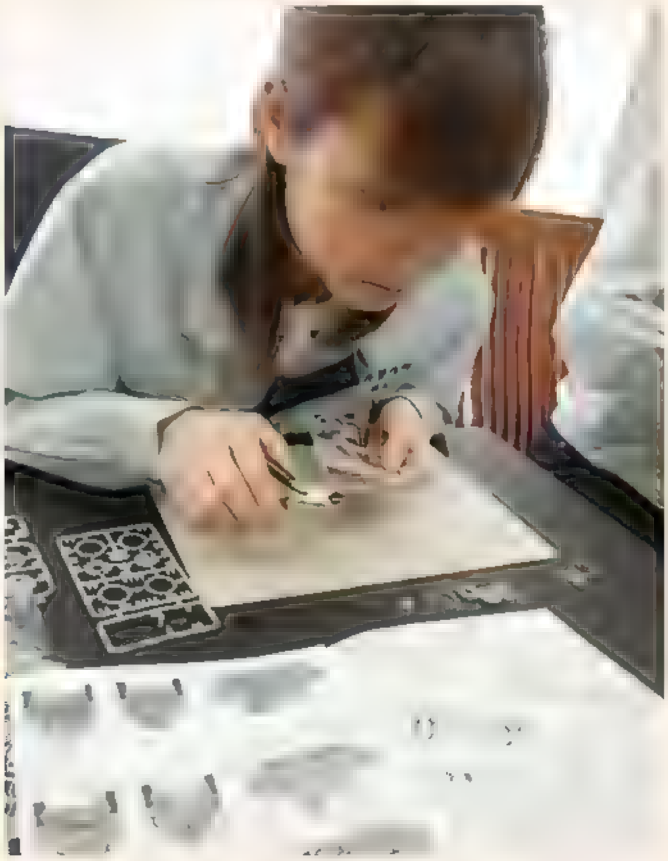
週刊アスキー 秋葉原限定版 2012年10月号
（発売日 2012年7月26日）

2012年9月28日、秋葉原で無料配布された「週刊アスキー 秋葉原限定版 10月号」では、声優の新井里美さんが模型を作る「新井製作所」に、渕上舞さんがゲストとして登場。Ⅳ号戦車の制作に挑戦し、ガルパンの声優さんが戦車模型を手がける先駆けとなった。

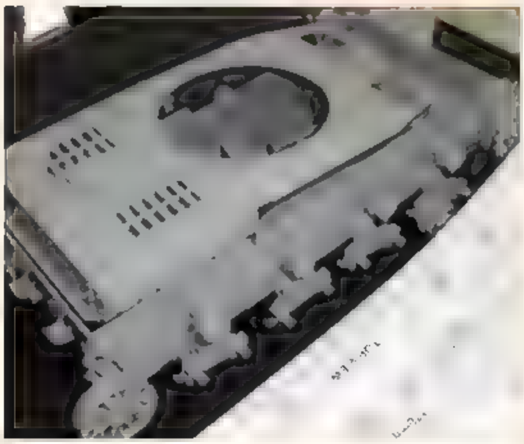


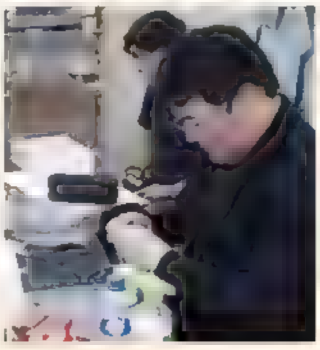
真剣な表情でⅣ号戦車に挑んだ渕上さんは、手先が器用なこともあり、何とか複雑な車体を組み上げていった





模型の制作は、これが生まれて初めてだった渕上さん。しかも上級者向けとして名高いサイバーホビー製のキットだったため、かなりの悪戦苦闘を余儀なくされた





この日は渕上さんの頼もしい助っ人として、鈴木貴昭さんが参加。手馴れた様子で、細かいパーツを組み上げていった



渕上さんが完成させたⅣ号戦車は、その後ワンフェスなどのイベントで展示され、ファンからの注目を浴びていた

最初に期待値を抑えた狙いとは!?

事前のプロモーション活動では、本来ハデなシーンをPVで押し出して、期待度を上げたいところ。だがガルパン放映前のPVでは、戦車の露出を極力抑えていた。

「戦車に関してはこだわる方が多いので、最初から期待値を上げず、放映後にすごいなと感じていただく方向を考えていました」と語るのは、杉山潔プロデューサー（杉山P）。事前の宣伝では、ガルパンそのものに関心を持つことに力を注いでいた。

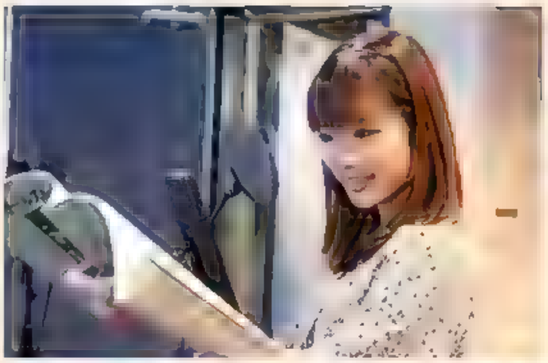
その一方で模型の展開は早く、2012年5月の静岡ホビーショーでは、プラッツのブースにⅣ号戦車などの参考品が並べられた。

「プラッツさんやファインモールドさんが、ガルパンに参加してくれて、本当にありがたかったですね。でなければ、こんなに早く商品化はできなかったでしょう」（杉山P）

こうしたプロモーション活動を経たガルパンは、放映後にその真価を視聴者に見せていくのであった。



最初は自己紹介すら照れていた渕上さんだが、いざ収録となると一発でOKを決めていた



茨城交通路線バス用ナレーション収録
（収録日 2012年7月26日）

放映初期から応援いただいた、茨城交通の依頼で実現した、渕上さんの車内アナウンス収録。実際の音声は、2012年11月18日から2013年12月31日まで、アクアワールド大洗～海門橋北口の区間で流された。

第52回 全日本模型ホビーショー
（2012年10月13～14日）

第1話（10月8日）が放映された5日後に行われたホビーショーでは、プラッツとファインモールドなどのメーカーが、ガルパン関連の戦車模型や試作品を展示。まだヒットが確実でなかった時期にも関わらず、各メーカーはそれぞれ趣向を凝らした方法で、新製品を紹介していた。



1/35の各戦車は、劇中のディテールを細部まで再現。ただ各チームのシーンが未放映だったため、展示ブースは不思議な雰囲気を漂わせていた



プラッツ

プラッツでは、2012年12月に発売予定だったⅣ号戦車やⅡ号突撃砲、38(t)戦車を展示。新たなPVも上映されたが、この頃になると戦車が動くシーンも追加されていた。







ブース内には等身大キャラクター＆Ⅳ号戦車の横断幕が掲げられたため、訪れるお客さんに大きなインパクトを与えていた





当初劇中では乙型が検討されていたが、偶然にも甲型キット化の時期と一致。アニメも甲型に変更された経緯があった

ファインモールド

かつて雑誌特典として八九式中戦車乙型をキット化したファインモールドは、その際に甲型の金型も製作。そんな虎の子である甲型キット化を、満を持して発表した。



ブースでは試作品のほか、キット内容を展示。このほかにも付属デカール見本や、才谷屋龍一先生のコミカライズ情報も紹介されていた



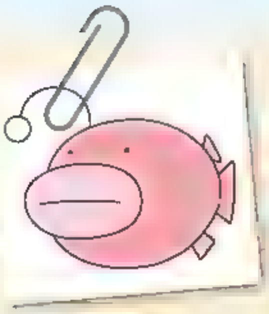
左より植田佳奈さん（河嶋桃役）、福圓美里さん（角谷杏役）、高橋美佳子さん（小山柚子役）。座談会は終始、和気あいあいとした雰囲気で行われた

BD&DVD第1巻特典ブックレット用座談会収録
（収録日 2012年10月25日）



BD＆DVD第1巻の発売にあたり、初回限定盤の特典ブックレットの目玉として企画されたのが、各チームの声優さんたちによる座談会。第1回目はトップバッターとして、カメさんチームの3人が登場。キャラクターの印象やアフレコの様子などが語られた。

Blu-rayスタンダード版は全6巻好評発売中
●Blu-ray 各巻6,000円（税抜） ●毎回映像特典のほか、音声特典としてキャスト陣のオーディオコメンタリーを収録



Girls und Panzer Event Report

ガルパン・イベントレポート

この夏、お台場・潮風公園で行われた「バンダイナムコ アニメキャンプ2014」を始め、各種イベントの模様をピックアップ。残暑に負けない出演者たちや観客の熱気と、楽しいトークなどをダイジェストでお伝えします。

バンダイナムコ アニメキャンプ2014

興奮も最高潮!!

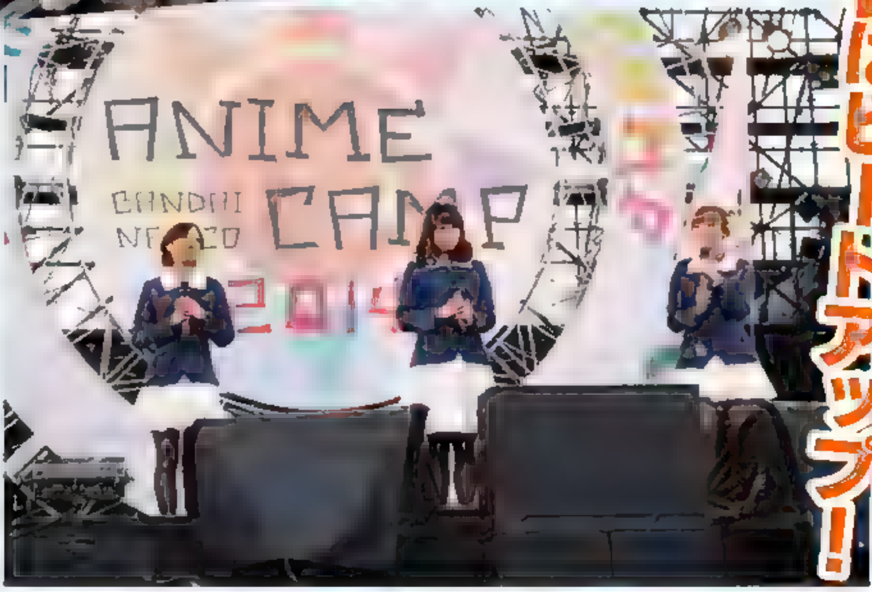
2014年9月20~21日の2日間、東京・お台場の潮風公園で行われた、「バンダイナムコ アニメキャンプ2014」。その1日目となる20日には、『ガルパン』より渕上舞さん、中上育実さん、尾崎真実さんが参加した。

大歓声に迎えられて登壇した3人は、声優である白石稔さんの進行で「今さら聞けないガルパン講座」と題したコーナーで、改めて作品の魅力をアピール。登場したキャラクターや戦車の見どころや、大洗町での思い出話に花を咲かせた。

さらにトークのあとには、アーティストのChouChoさんが登場。渕上さんたち3人がカラフルな旗を振って応援するなか、OPテーマ「DreamRiser」を熱唱し、大盛況のステージショーを締めくくった。

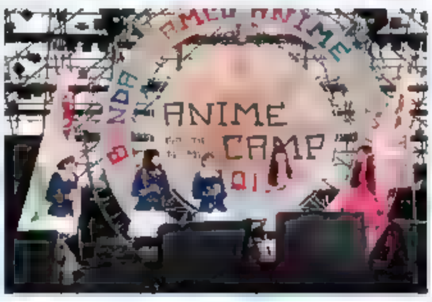
トーク&ミニライブに観客はヒートアップ!

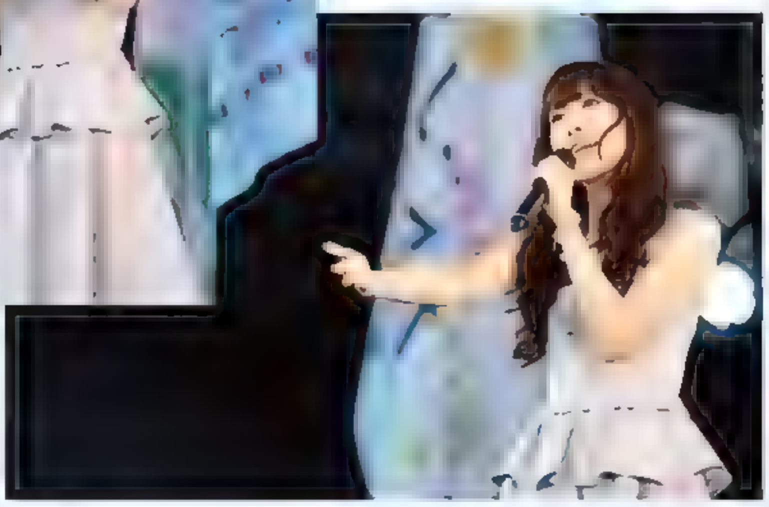




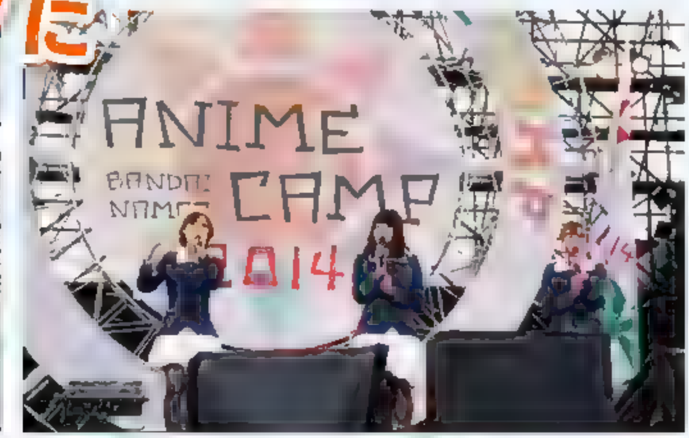
右から中上育実さん、尾崎真実さん、渕上舞さん。大勢の観客を前にした中上さんは「ヒャッホー、最高だぜー」と絶叫!

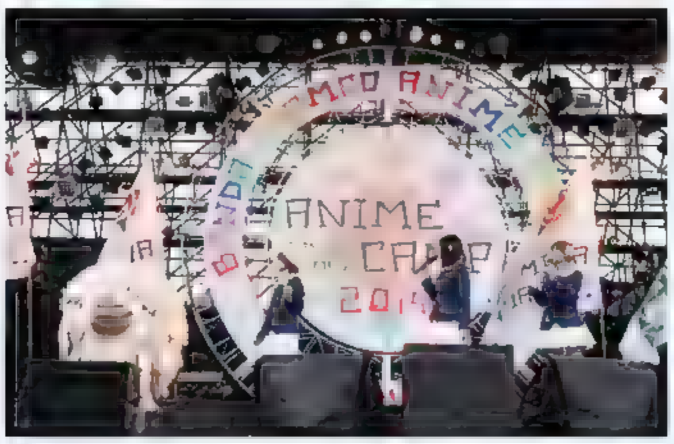






トーク&ミニライブと盛りだくさんなステージショーは、ChouChoさんの美しい歌声もあり、会場内は大歓声の渦に包まれていた





トークの前半では、大洗町のマスコットキャラ・アライッペがステージに登場。昨年のあんこう祭以来の再会となった3人は、うれしさのあまり大はしゃぎしていた

キャラポップストアも大賑わい!







会場内には「ナムコキャラポップストア」が出店。新商品として「ランドリーバッグ」や「スマートフォンケース」、大洗女子学園校章入りボトル&カバー」などが販売されたこともあり、たくさんのお客さんで店内はあふれかえっていた

大洗物産展ブースも好評!





無料ゾーンでは、大洗町からわざわざ運ばれたラッピングバス2号車と、日照IV号戦車を展示。道行く人々の注目を浴びていた





この日のために大洗町の皆さんが、地元産の野菜類などを持ってイベントに参加。アライッペも、ゆるキャラグランプリの投票を精力的に呼びかけていた

東京ゲームショウ2014 コラボ雑談

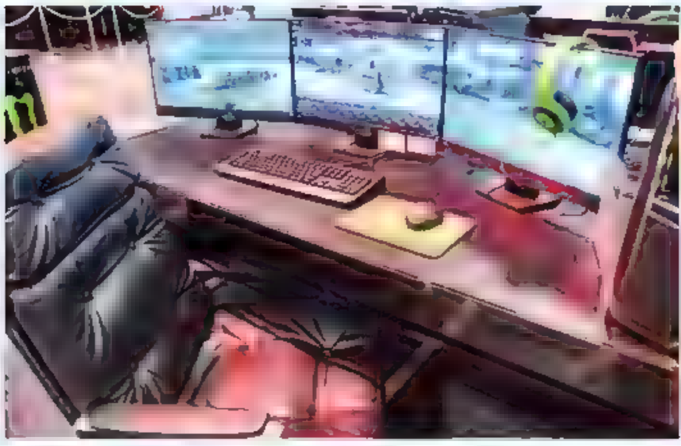
千葉・幕張メッセで2014年9月18~21日に開催された「東京ゲームショウ2014」。その最終日にあたる21日には、「ウォーゲーミングジャパンブース」にて、「コラボ雑談」と題したトークイベントが催された。

トークには「World of Tanks」とのコラボ延長が決定した「ガルパン」の杉山P、オンライン海戦ゲーム「World of Warships」とのコラボを控えたアニメ「蒼き鋼のアルペジオ・アルス・ノヴァ」の南健プロデューサー(南P)、両作品にメインヒロイン役で参加する渕上舞さんが参加。マニアックな艦船や戦車の話題や、杉山&南Pによる各コラボでやりたい企画案などで盛り上がった。



今回のトークイベントは、渕上さん繋がりで実現。杉山Pと南Pは、一緒にPVを作ったり、共同版権イラストを制作したいと将来的な夢を語った

新展開を迎える WoTとのコラボレーション





「ウォーゲーミングジャパンブース」では、「World of Tanks」のPC版のほか、X-BOX360版やOS版の試遊台が設置された。プレイした方々には、「ガルパン」のグッズが配布されていた



写真提供 ウォーゲーミングジャパン

茨城空港ガルパン応援計画2014 スペシャルトークショー

2014年8月30日、茨城県小美玉市・茨城空港では「茨城空港ガルパン応援計画2014」の一環として、スペシャルトークショーを開催。常盤良彦さんの進行で、渕上舞さんや山郷あゆみ役の中里望さん、杉山Pがトークを展開した。

ところがイベントでは、杉山Pがマイペースにダジャレを連発。渕上さんが茨城空港で行われていたスタンプラリーの台紙に「時刻表がついているんですね」と説明すると「地獄表?」とおじさんギャグを披露した。これに対して渕上さんは、「地獄に行きますか?」とコメント。渕上さんの見事な反撃に、集まった観客は思わず爆笑していた。



空港ならではの新鮮な体験を満喫



当日は「空美ちゃん撮影講座」という、女性航空ファン向けの撮影会も実施。これに参加した渕上さんや中里さんの作品は、サイン入りで空港内に展示されている





空港ロビーではOVAの写真パネルのほか、キャラパネルやパンツァージャケットが飾られ、ファンの目を楽しませた

スタッフナイト これが本当のスタッフトークショーです

OVAのBD&DVDの発売日となった2014年7月25日、東京・新宿バルト9にて鈴木貴昭さんや吉川和篤さん、岡部いさくさん、杉山Pのトークイベントを開催。制作の舞台裏などが語られた。そのなかで吉川さんは、今年になって偶然入手した、セモヴェンテの射撃マニュアルが役に立ったエピソードを披露。観客も熱心に、耳を傾けていた。



トークでは、カルパッチョは北イタリア、アンチョビやペパロニは南イタリアの気質を参考にしたと、キャラの性格付けについても語られた

OVA発売記念 "これがおじさんたちの戦車道です"







イベントの最後には抽選で、登壇者全員のサインが入った戦車模型が、参加者にプレゼントされた

2014年7月27日、千葉・幕張メッセの「ワンダーフェスティバル　2014夏」では、プラッツブースにてトークイベントが催された。このイベントには吉川和篤さん、岡部いさくさん、プロモデラーの山田卓司さん、杉山Pが参加。OVAで見せたイタリア戦車の動きや、次に控える劇場版の話題で盛り上がり、イベントは盛況のうちに幕を閉じた。

冷たい水に流して心機一転 冷泉麻子バースデーイベント

冷泉麻子の誕生日イベントとして、2014年9月1日、茨城県大洗町の大洗ホテルにて「冷罪会見」という風変わった催しが開かれた。これは、今までの不手際をファンの前で謝ろうと、大洗ホテルの大里明さんが企画。肴屋本店の島根隆幸さんや、山戸呉服店の山戸章弘さん、常盤良彦さんと杉山Pが会見に臨んだ。

ところが杉山Pは、会見冒頭から「謝ることはない」とコメント。その後は常盤さんとの脱線トークを展開した。さらに杉山Pが、島根さんに「冷罪することはないの」と質問。お酒に酔ってツイッターにつぶやいたことを、島根さんが陳謝する姿も見られた。



混乱と爆笑に満ちた異例の冷罪(ひやざい)会見

いばキラTVにてイベントの模様を好評配信中!
http://www.ibakira.tv/archive/girlsundpanzer/

常盤さんは会見にて、「勝手にガルパン応援団」のスタッフジャンパーに「KATTTE」と誤植のまま背中に印刷したことを謝罪した







バックトゥザーカーニバル
BACK TO THE CARNIVAL

過去に開催されたイベントに、スポットを当てる本コーナー。今回は、2013年夏に行なわれたイベントを中心に紹介。この頃から次第に増えていく、大洗町独自の催しなどを振り返ってみました。

ミリタリーコメンタリー WF2013夏 出張版

2013年7月28日　千葉・幕張

このトークショーでは、軍事ライターの田村尚也さんや月刊モデルグラフィックス副編集長（当時）の高久裕輝さんを始め、山田卓司さん、吉川和篤さん、鈴木貴昭さん、杉山Pが出演。「ガルパン」の劇中で登場しなかった各高校が、どんな戦車を持っているかという話題に花を咲かせた。





当初、ほかのイベントのため出演予定がなかった岡部さんが急遽参加。名前のプレートを自ら手書きで用意した



大洗 八朔祭

2013年8月25日　茨城・大洗町

毎年、大洗町で行われている「大洗 八朔祭」では、曲がり松商店街で「第1回　曲がり松ラジコン模型戦車道」が開催された。試合では、参加者によって持ち込まれた自慢のラジコン戦車同士が、激しいバトルを展開。以後、大洗町で行われる「ガルパン」イベントで度々開催されている





試合は、ラジコン戦車の後ろにつけた風船を、砲身先端につけた針で割るというルールで行われた



展示ブースでは、これまで各キャストさんが制作した戦車の模型が展示されていた

大洗 盆踊りの夕べ

2013年8月11日　茨城・大洗町

この日大洗町で行われた盆踊り大会では、誰でも簡単に踊れる「あんこう音頭　大洗盆踊りVer.」を初めて披露。さらに、サプライズとして渕上舞さんが浴衣姿で特設会場のステージに登場した。これには、集まったファンもびっくり。渕上さんの振りにあわせて、大洗盆踊りVer.を一緒に楽しんでいた。





当日、渕上さんは「あんこう音頭 大洗盆踊りVer.」に同梱のDVD撮影で、早朝からあんこう踊りを町内各所で踊っていた



リアル・エンカイ・ウォー

2013年9月1日　茨城・大洗町

大洗ホテルで開催されたこのイベントは、「ガルパン」特典OVA第6話で描かれた「エンカイ・ウォー」をそのまま再現したもの。常盤良彦さん、大里明さん、杉山Pのトークイベントのあと、OVAに登場した同じ会場（日の出の間）で、参加者によるかくし芸大会が実施された。







イベント参加者は「あんこう踊り・リアルVer.」など、個性豊かなかくし芸を披露。優秀者には、干し芋製造用の「干し網」などが贈られた

「ガルパンの秘密」を始め、３冊のガルパン本を送り出した武田頼政さんや、大洗町で缶バッチを作り続ける商工会事務局・坂本博局長を直撃。その想いをお聞きしました。

PROJECT G
Supporters of Girls und Panzer



武田頼政

たけだよりまさ ● 「ガルパンの秘密」(廣済堂刊)編集
ノンフィクションライター

1958年11月30日生まれ、静岡県浜松市出身。大学卒業後「航空ジャーナル社」を経て、1988年から週刊現代の社会事件とスポーツの取材を担当。2007年の大相撲八百長告発キャンペーン記事を執筆し、「編集者が選ぶ雑誌ジャーナリズム大賞」受賞。現在は、ノンフィクション作家兼廣済堂出版編集部員

陰々滅々な世界からアニメの世界へと

――『ガルパン』と出会った経緯を教えてください。

それまで週刊誌で記者の仕事を、20年ほどやってきました。人殺し、政治家の疑獄事件、大相撲八百長問題など裏の裏の世界で、いったい何が目的なんだと思うような出来事ばかりを扱ってきたんです。そんな陰々滅々たる、度しがたいリアリズムに飽きたということもアニメーションの世界に目が向いたひとつのきっかけかもしれません。

『ガルパン』との出会いはYahoo!ヘッドラインに出ていた「秋山優花里のよくわかる！ 陸上自衛隊」でした。プロデューサーの杉山潔さんが戦車と女の子で作品を創ると言っていたことを思い出して、確認の電話をしたんです。話を聞いていくうちに、文章中心の書籍として刊行したいと考え始めました。

スタッフひとりひとりの点と点を結びつけることで、作品を客観的に俯瞰する。そういう本があってもいいんじゃないか、それが僕の仕事だろうと思いました。アニメーションの世界がどうやって成り立っているのか、どう夢を実現しようとしているのか、それを聞いてみたかったのも動機のひとつでした。

――ガルパンのどこに惹かれたか。

まず戦車の動きに魅了されました。それを再現するのがどれだけ大変かという話を聞いて、改めてスタッフの仕事ぶりに驚いたんです。アニメで戦車を地面の上に走らせることがどれだけ困難なのか、作画の過程も見させていただいて納得しました。

そしてストーリーが暗くない。第一次世界大戦の撃墜王の映画を見ると、みんな正々堂々としています。そんな時代に回帰しようとするエッセンスがきちんと表現されているな、と感じたんです。

とくに対サンダース大学付属のエピソードは大好きです。彼女たちは物量で圧倒することもできたのですが、敢えてそれをしない。通信傍受のような近代戦のやり方はいけない、とも言う。アメリカ軍とおぼしきサンダース大学付属に、そう言わせる吉田玲子さんの脚本のおもしろさ。さらにサンダース大学付属の隊長であるケイに「戦車道」という言葉を言わせてしまう。それこそが『ガルパン』の世界だと思います。

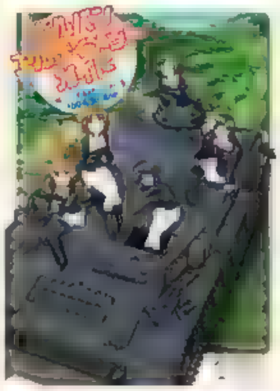
スタッフと聖地、印象に残った事は?

――3冊刊行された経緯は?

最初に企画を出したのは、3冊目の新書『ガルパンの秘密』です。取次のトーハンが好感触で、3冊くらい企画が出せないかと打診されました。それで詳細なネタ本の『ガルパン アルティメット・ガイド』と、地元を紹介する『大洗ガルパン・トラベル・ガイド』を作ることになったんです。廣済堂出版はアニメ関係の本を出している出版社ではないので、基本的にアニメを知らない人が読んでも分かる物にする、という基本的な考え方は持っていました。

――実際に取材をして特に印象的だったスタッフは?

まずカトキハジメさんです。「絵コンテ」という仕事について、できあがった作品を見て初めて腑に落ちました。そのお話が聞けたことですね。次にアクタス社長の丸山俊平さんです。アニメーション業界は光ばかりだけではなく辛い部分も多くあって、その中で丸山さんが一生懸命『ガルパン』を創り上げた話に涙しました。そして渕上舞さんのシンデレラストーリー。頑張ってもなかなか芽が出なかった声優が、この作品に巡り会ってようやく、という話です。









プロジェクト
～ガルパンを支えた人びと～

本当に奇跡のようなめぐり会いが重なって、作品が作り上げられてきたんだと感じます

下の写真は、2014年3月29日に「海楽フェスタ」の前夜祭として行なわれた「ミッドナイトトークショー」の模様。ゲストとして参加した武田さんは、「ガルパンの秘密」にまつわるトークを展開した







そういう人々のタイミングが合って、総合力で『ガルパン』を完成させせたんじゃないかと感じます。それを『ガルパンの秘密』で描き出せたのは良かったと思います。

――大洗町での取材はいかがでしたか？

アニメ作品の聖地と言われている土地は数々ありますが、大洗町ほど作品と密着している場所はないと思います。大洗町の人々にとって『ガルパン』はただの商売ではないんです。真剣に遊んでいる。それは自分に足りないピースを埋めるためではないでしょうか。『ガルパン』はそれにぴったりと当てはまった。だからテレビ放映が終了しても、引き続き大洗町の皆さんが応援してくれているんだと感じます。

またバンダイビジュアルが大洗町に『ガルパン』を根付かせる方法が、地元にフィットしていた。第一義に商売ではなく、まずは環境を醸成して気分を盛り上げていく。その結果、商売に結びつくのならそれはそれで結構、というスタンスでした。まず愛されることが先という考え方で、非常に好ましく感じました。

――聖地の印象はいかがでしたか？

『ガルパンの秘密』を売るため、7月20日に開催された「第30回曲がり松100円商店街」に出店したんです。当時、僕は腰を痛めていて身動きが取れなくなって……。すると、ファンの方が売り子さんをやってくださって。なんでこんなに良くしてくれるんだろう、と。そういうファンの優しさが、大洗町の人々にも受け入れ易かったんではないでしょうか。年齢層も社会的経験を積んでいる方が多いので、他人の気持ちを察しようという思いに溢れていますね。そういう人たちが好きになる『ガルパン』なので、地元の人々も応援しようという心持ちになったのは不思議ではないですね。

欠けていたピースがはまったというのは、ファンの人たちにとってもそうだし、地元の人たちにとってもそうだったんでしょう。それこそ「聖地」ですね。本当に奇跡のようなめぐり会いが重なって、この作品ができあがったんだと感じます。

大洗とアルティメット続刊企画を考えています

――これまで『ガルパン』に関わってきてのご感想は？

僕が子供の頃に見ていたのは「東映まんがまつり」。宮崎駿さんが参加していた時代ですね。僕は『鉄腕アトム』や『巨人の星』の世代なんです。本当に久しぶりにアニメーションを見て、ビジネスモデルも含めてその変化は衝撃的でした。でも日本のアニメが持つ良い部分はきちんと受け継いでいる。だから僕にも受け入れやすいのかな、と思いました。

――陰々滅々とした想いは払拭されましたか？

人間社会だから、3人集まれば事は起こる。でも『ガルパン』ではひとつの夢に向かっていくために、各事案をひとつずつ丁寧に取捨選択するリーダーたちがいて、その総体として作品ができあがっている。それが非常に良く分かりました。憧れてしまう世界でしたね。夢は夢として続いていって欲しいと思います。

なので来年の劇場映画にも非常に期待しています。物語の中でどういう人物がどう動くのか、あんこうチームがどう活躍するのか、あるいはどんなしんどい目に遭うのか、とかその辺がとても楽しみですね。

――今後の刊行予定はありますか？

だから「ガイド本パート2を出せ」と（笑）。商品も変わっていますし、真剣に考えなければならないかな、と思っています。『アルティメット2』も出したいし。この2冊は今後前向きに検討していきます。

――ちなみに今取り組んでいるお仕事は何でしょう？？

太平洋戦争を、ある海軍士官の手紙と日記を元に綴る内容の本です。その士官の兄が政治家で、弟が大蔵省官僚。当時の日本をリードしていた人たちです。政治家・軍人・官僚が、戦争をどう指導していったのか、彼らの人間関係や挫折してゆく様を書きました。日本の全体主義がどのようにして生まれたか、その実態を描き出したいです。タイトルは「零戦の子」（文藝春秋）です。

プロジェクトG
PROJECT G
Supporters of Girls und Panzer
～ガルパンを支えた人びと～



坂本 博

さかもとひろし ● 大洗町商工会事務局長

1952年3月19日生まれ、大洗町出身。坂本文具店を経営するかたわらで、2010年4月より大洗町商工会事務局長を務める。大洗町の方々のみならず、同地を訪れるガルパンファンからも親しまれており、本人も「商工会が大好きです」と語っている

「海楽フェスタ」の成功がすべての始まり

――どのような経緯で、大洗町商工会として『ガルパン』に協力することになったのですか？

最初に、バンダイビジュアルの杉山潔プロデューサーから商工会会長の田山東湖さんにお話があったのがきっかけでした。しばらくは制作協力主体でしたが、2012年のあんこう祭後、田山会長から震災でダメージを受けた大洗町の活気を取り戻すために、『ガルパン』をバックアップして欲しいと依頼があったんです。そこで、大洗まいわい市場の常盤良彦君と肴屋本店の大里明君を交えた、若手メンバーと一緒に協力することになりました。それから大体1年後、協力内容が固まり始めた頃に、商工会全体として動き始めました。

具体的には、2013年1月のスタンプラリーと同年3月24日に開催した「海楽フェスタ」で、キャラクターパネルを各店舗に設置するところからでした。その企画が、信じられないくらい人気が出ましたね。田山会長も含めて私も2～3回、商店街を見て回りましたが、どこもかしこも人・人・人。本当に史上初の出来事でした。それからはもう、ミラクルの連続で、アニメの力というか『ガルパン』の魅力を実感しました。実際に『ガルパン』は、クリーンなイメージの作品で、物語もさわやかですよね。そのおかげか、大洗町を訪れるファンの皆さまもマナーが良くて、ゴミひとつ出さない。これも、信じられないことでした。

缶バッジも、去年の「海楽フェスタ」で初登場だったと思います。

『ガルパン』の缶バッジは、常盤君が持ちかけてきたもので、あんこうマークのバッジが第一号でした。もともと缶バッジの製作自体は、震災復興プロジェクト「がんばっぺ！茨城」の一環として、大洗町でも行っていました。でも今では商工会というより、各店舗が『ガルパン』ではない自分たちのオリジナルバッジを企画していますね。

――多い時には、一ヶ月でどれくらいのバッジを作っていたのですか？

今年の例で言いますと、4月から8月で5,000個くらいの缶バッジパーツを12回注文していたので、合計で60,000個。だから、一ヶ月で約12,000個ですね。

――今でも、局長が缶バッジを製作されているのですか？

いやいや、今は現実的に無理なので、現在は常設で2名ほどが手作りで製作しています。ただ最初の頃は、土曜日にひとりで商工会事務所に来て、缶バッジを作っていたこともありました。一見すると、缶バッジ製作は簡単に思えますが、工程が大変なんです。印刷した絵柄を裁断して、缶バッジの台座に乗せた上で、保護フィルムをかけてプレスする。一度、常盤君から業者に頼んだらと言われたこともありました。でも『ガルパン』のおかげで、商店街の人々が楽しんで生き生きしている。だから、手作りにこだわっているんです。

常盤氏に乗せられたユニークな企画の数々

――局長の缶バッジが、製作された経緯を教えてください。

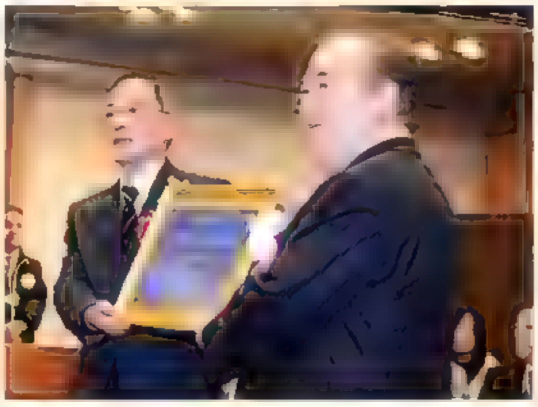


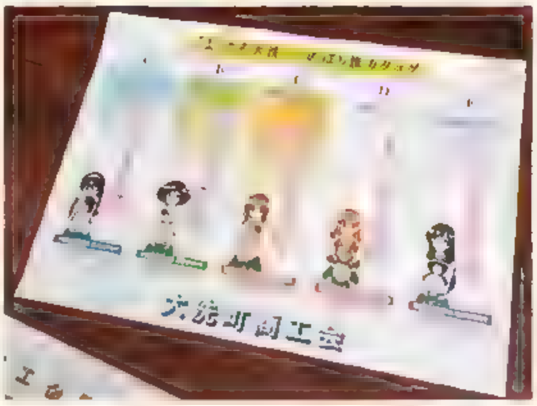




『ガルパン』のおかげで大洗町の商店街が元気になったことが、一番うれしいですね







これも、常盤君の発案なんですよ。彼が水郷線の上菅谷駅前の活性化を目指す「カミスガプロジェクト」の皆さんと交流があって、そのイベント「サスガ☆カミスガ」に、大洗町が出店することになったんです。そこで、私に手作りで200個ばかり作って欲しいと依頼があったんです。でも「サスガ☆カミスガ」で作ったのなら大洗町でもということで、2013年11月3日の「大洗町商工感謝祭」に向けて、私が恥を忍んで1,000個ほど作りました。まあ、普通のおじさんが缶バッジになることは、めったにないですよね(笑)。

——大洗町をよく知るファンにとっては、マストアイテムかと。

まあ、お守りにでもしていただければ(笑)。でも『ガルパン』ファンには、本当にありがたいと思っています。今年の「海楽フェスタ前夜祭」に向けて行われた一口500円募金では、びっくりするくらいの寄付が集まりました。おかげであんこう花火も、10発の予定が20発に増やせました。また前夜祭当日も、あんこう花火を見られたお礼として、ファンから多額の寄付がありました。これには、本当に感激しました。

——そういった取り組みが「いばらきイメージアップ大賞」など、さまざまな表彰に繋がったと思います。その受賞式では局長が、壇上で「パンツァーフォー」の掛け声をかけましたが、最初から考えていたものですか?

それはなかったです。ただ、ちょうど目の前にいた常盤君の顔を見て、とっさに思いついたんです。常盤君の顔を見たら、やらなきゃと思ってしまいましたね(笑)。

——抽選により参加した、約50人のファンも盛り上がっていました。

信じられない気持ちですね。いろいろな方々のご支援や、常盤君や大里君の尽力、そして茨城交通さんや鹿島臨海鉄道さんのご協力があっての盛り上がりだと思っています。それは今も商店街に波及していて、大洗町も頑張っていこうとしています。

——今年7月10日の「第30回曲がり松100円商店街」では、各店主の皆さんがパネルとして店頭に飾られました。

それも、常盤君たちが企画したものです。最初は、各店主さんが乗ってくれるかなと心配しましたが、現在ではほかの商店街も含めて、100店舗以上の店主のパネルが飾られています。これも、斬新な企画なのでびっくりしました。

——ここだけの話ですが、常盤さんに乗せられている部分が多いですね。

多いですよ、本当に(笑)。ここまで来たら、言われたことは何でもやらないと。一応、事務局長ですから。田山会長も、町の活性化に繋がることは、何でもやれと言っております。

——これは私見なのですが、各店主さんのパネルを見て、これが本当の「町おこし」だと思いました。

そうですね。『ガルパン』のおかげで商店街が元気になって、震災復興のことを忘れるくらい笑顔になっているのが、一番うれしいですね。商店街活性化の取り組みは、何十年もやってきたけど、イベントや抽選会のときだけ人が集まるだけでした。それが今や、平日にも関わらずガルパンファンがおこしになる。しかも、大里君や大洗ホテルの島根隆幸君が中心になって、8月30日に行われた「大洗・大納涼祭」では、1,000人以上の方々が訪れてくれた。納涼祭を行った東町商店街から宮下旅館街は、50～60年くらいの間、まとまってイベントをやったことがなかったんです。でも大里君や島根君が、町を元気にしようといろいろと考えた結果でもあると思います。

11月3日の商工感謝祭にも注目!

——今後「あんこう祭」が控えておりますが、どんな企画を予定していますか?

あんこう祭もありますが、11月3日には「大洗町商工感謝祭」が開催されますので、こちらも楽しみにして欲しいです。今、感謝祭を目指してニューデザインの缶バッジを二種類、用意しています。あと感謝祭とは別に、各商店街に飾る新しいのぼり旗を製作中です。これには、今年1月から2月にかけて募集した「おおあらい川柳」の優秀作を印刷しており、10月から12月いっぱいまで飾りたいと思っています。

今は商工会の若い人たちが、やる気を持って企画を考えているので、商店街や民宿のご主人たちも「ようこそ大洗町へ」と元気になっています。ファンの皆さまには、本当に感謝の一言しかありません。それとともに、また大洗町におこしいただけたら幸いです。



それいけ！ガルパン料理道

●今回のテーマ●
ボルシチ

今回は第9話に登場したボルシチに、大洗シーサイドホテルのレストラン「ウィスタリア」のシェフが挑戦。その作り方とおいしさの秘密を、教えていただきました。











「やはり、誰でもおいしく感じる味にこだわっておりますし、お客さまからおいしいと言って貰えることが、うれしいことですね」

そう語るのは、「ウィスタリア」のシェフ・相田寛治さん。大洗町に来て20年以上たつ、ベテランの料理人である。ただし、初めて挑戦するボルシチでは、かなりの試行錯誤があったようだ。

「まず疑問だったのは、ロシアの方がどんなボルシチを食べているかでした。ですがボルシチは、日本のお味噌汁のようなものだと知り、それならば自分のオリジナルでもいいかなと考えました」

とはいえ、試作段階では、ビーツの量や香草であるディルの有無など、バランスに気を使ったという。

「同じロシア料理のビーフストロガノフであれば、味の想像がつくと思いますが、ボルシチはわからない方も多い。そこで、皆さんが楽しんでいただける味を目指しました」

なおボルシチは、近日中に「ウィスタリア」にて提供予定とのこと。くわしくは、大洗シーサイドホテルのHPをチェックして欲しい。

煮込んでホカホカ!

おいしいボルシチの作り方



教えてくれた方　大洗シーサイドホテル　レストラン「ウィスタリア」　相田寛治(あいたかんじ)さん



ボルシチ用に用意した材料は、牛バラ肉に玉ねぎとにんじん、じゃがいもやセロリ、トマト。ディルという香草と月桂樹の葉も使います。また、ボルシチに欠かせないビーツは、比較的入手しやすい、水煮された缶詰を使用します。



まず、ベースとなるブイヨンスープ作りの下ごしらえとして、塩・コショウをした牛バラ肉を軽く炒めます。少し焼き目を入れることで、長時間煮込んでもお肉から旨みが逃げず、しっかりとした味わいを楽しむことができます。



炒めたお肉を鍋に移し、水を入れて煮込んでいきます。このとき、臭みを取るため玉ねぎやにんじん、セロリなどの香味野菜を、ざく切りにして炒めたものを加えます。そして最後に月桂樹の葉を入れて、約3〜4時間煮込みます。



今度は、具材用の野菜を刻みます。キャベツやにんじんは粗い千切り、じゃがいもは一口大に。トマトは皮を湯むきして、賽の目に切ります。ビーツは、千切りに。なおビーツの汁は、スープに加えるので取っておきましょう。



ここからが、ボルシチ作りの本番。オリーブ油でみじん切りのニンニクを炒めたあと、にんじんと玉ねぎを投入。軽くキツネ色になったら、ビーツを炒めてブイヨンスープとじゃがいもを入れます。そのとき、ビーツの汁も加えます。



今度は、ブイヨン作りに使ったお肉を一口大に切って、野菜を煮ている鍋に入れます。この作業は、じゃがいもが煮崩れる恐れがあるので、手早くやりましょう。そして、月桂樹の葉と、お好みに合わせて刻んだディルを入れます。



最後に、キャベツを入れて軽く煮込んだら、レモン汁をひと絞り入れます。こうすることで、鮮やかなボルシチの赤になります。そして塩・コショウで最終的に味を整えていき、薄いと感じたらブイヨンの素を入れていきます。



野菜を煮込み始めてから約10〜15分で、ボルシチは完成。器に盛り付けたあと、サワークリームや刻んだディルを、お好みでトッピングしていきます。完成したボルシチは、赤・白・緑の彩りが鮮やかで、食欲をそそります。

プロが教えてくれる おいしさの秘密

ボルシチ作りでもっとも時間がかかるのが、ベースとなるブイヨンスープ作り。一般の家庭で3〜4時間も煮込むのは、なかなか手間のかかる作業である。
「ご家庭では、ブイヨンの素を使うのが一番手軽。アク取りもしっかりしたいところです。また完成したあと一晩寝かせると、味が具材に染み込んでまろやかな味わいになります。火を切って、2〜3時間置くだけでも味が違いますよ」(相田さん)



大洗シーサイドホテル
レストラン「ウィスタリア」
HP:http://www.ooarai-seasidehotel.co.jp/
住所:茨城県東茨城郡大洗町磯浜町6881
電話:029-267-2111　営業時間:11:00〜15:00
ホテルチェックイン:14:00　チェックアウト:10:00
みほのパネルが玄関に飾られた、全室オーシャンビューのホテル。現在「ウィスタリア」では、ドリンク付きの戦車ケーキセットを700円で提供中





Girls und Panzer Style

ガルパン流 戦車の楽しみ方

もっとも手軽に戦車を楽しむ方法といえば、やはり映画を鑑賞すること。そこで今回は、9名のガルパン関係者にオススメの戦車映画と、その見どころを教えていただきました。

戦車の活躍を映画やドラマで楽しんでみよう



パワープレイ 特別版
監　督：マーティン・バーク
出　演：ピーター・オトゥール
デヴィッド・ヘミングス
ドナルド・プレザンス
バリー・モース ほか
製　作：1978年（イギリス・カナダ）
発売元：スティングレイ
※2014年6月30日でDVDの販売終了

軍事評論家 岡部いさくさんのオススメ

戦車映画っていうか、第二次世界大戦のあとにイギリスで開発された戦車・センチュリオンの映画としておススメなのが、1978年に制作された「パワープレイ」。架空の国のクーデターの顛末を描く映画なんだけど、カナダ軍の撮影協力で、センチュリオンがたくさん出てくる。

その戦車部隊の司令官をピーター・オトゥールが怪演していて、無帽でサングラスかけて、センチュリオンのキューポラから身を乗り出す姿が妙にかっこいい。ほかにも出演が、デヴィッド・ヘミングスやドナルド・プレザンス、バリー・モースっていう、イギリス系俳優の盛り合わせの良さ！

同じくセンチュリオンが出てくる映画として、ビートルズの「ヘルプ！4人はアイドル」も見てね。ビートルズの4人が謎の教団・カイリ教徒に命を狙われる話で、途中であんまり必然性なくセンチュリオンが出てくる。悪者が「プリズナー No.6」でナンバー2を演じた、レオ・マッカーン。リチャード・レスター監督の演出が楽しいったらない。あら、どっちも戦車戦のシーンがないわ。ごめん！

絵コンテ カトキハジメさんのオススメ

オススメの戦車映画と言って、あまりピンと来る作品がなかったので、私がもう一度観てみたいと思っている映画をご紹介します。

ひとつは、5代目ジェームス・ボンドのピアース・ブロスナンが出演する「007　ゴールデンアイ」（1995年公開）。シリーズ17作目となる本作では1946年にソビエトで開発された中戦車、T-54がちょっと登場するだけですが、街中を戦車でカーチェイスするアクションがおもしろいのです。一度、じっくりコマ送りで見てみたいと思っています。

もうひとつは、日本でも1985年に放映されたアクションドラマの劇場版「特攻野郎Aチーム　THE　MOVIE」（2010年公開）。劇中でアメリカの戦車・M1が空中投下されるシーンは、お気楽アクションであるこの作品のなかでも、とりわけバカバカしい場面で笑わせてくれます。

映画の「戦車」はカッコ良く描こうとすると微妙にスベったり、しっかり描こうとすると深刻になりすぎたりするので「これはネタですよ」という作り手のサインがあると、観る方も安心できるのです。



特攻野郎Aチーム THE MOVIE〈無敵バージョン〉
Blu-ray発売中
監督・脚本：ジョー・カーナハン
製作総指揮：リドリー・スコット
出　演：リーアム・ニーソン
ブラッドリー・クーパー
クイントン・"ランペイジ"・ジャクソン
シャルト・コプリー ほか
製　作：2010年（アメリカ）
Blu-ray：2,381円（税抜）
発売元：20世紀フォックス ホーム エンターテイメント ジャパン

佐々木あけび役 中村桜さんのオススメ

「バルジ大作戦」は基本教養として……私がオススメしたいのは「ホワイトタイガー ナチス極秘戦車・宿命の砲火」。これは2012年に制作されたロシア映画ですが、監督やキャストも日本ではあまり知られておらず、上映も映画祭でのわずか2館と知名度はあまり高くない作品です。

戦車の声が聞こえる……と言い出すニュータイプの主人公、女好きの砲手、アル中の装填手が戦車に乗り、正体不明のドイツのお化け戦車、ホワイトタイガーに挑むという、ところどころ戦争映画では類をみない、とんでもない設定が含まれています！

ソビエト側の視点で物語が進むので登場数は少ないですが、ドイツ戦車の魅力も充分に楽しめます。とくにティーガーⅠはこの映画のために、ロシアの模型スタジオがスクラッチで1：1モデルを製作。ほかにもT-34/85、T-34/76、Ⅳ号戦車、BT-5快速戦車、マチルダⅡ、M3中戦車など、さまざまな戦車が登場します。中盤のソビエト戦車がずらりと前進していく姿と、ティーガーⅠとT-34/85の戦闘シーンは注目です!!



ホワイトタイガー ナチス極秘戦車・宿命の砲火
DVD発売中
監督・脚本：カレン・シャフナザーロフ
出　演：アレクセイ・ヴェルトコフ
ヴィタリー・キッシェンコ
ヴァレリー・グリシュコ
ウラジミール・イリン ほか
製　作：2012年（ロシア）
DVD：4,700円（税抜）
発売元：彩プロ
販売元：東映・東映ビデオ

考証・スーパーバイザー
鈴木貴昭さんのオススメ

「ガルパン」の第10話でも登場した「戦略大作戦」です。これは第二次世界大戦末期のヨーロッパ戦線で、ドイツ軍の隠した金塊をハミ出し者たちが奪取しようとする物語。邦題では「戦略」+「大作戦」といかにも大規模作戦を描いた作品に見えますが、その内容は気軽に見られる戦争コメディです。

見どころは劇中に登場する、M4A3E4シャーマンとT-34改造ティーガー。この改造ティーガーは、砲塔がやや前寄りにありますが、実によくできている。それまでの映画で「どこがティーガーだ!」という気持ちが、一発で吹き飛びました。

また、人間よりもシャーマンが大活躍するので、観ていると主役は戦車じゃないかと思えてきます。

今になってみると、似ていない部分も結構ありますが、あれが「心のリアル」なんだなと痛感しています。自分的には「ガルパン」の根底に流れているのが「戦略大作戦」のイメージです。



戦略大作戦
Blu-ray&DVD発売中

監　督：ブライアン・G・ハットン
出　演：クリント・イーストウッド
テリー・サバラス
ドナルド・サザーランド ほか
製　作：1970年（アメリカ）
Blu-ray：2,381円（税抜）
DVD：1,429円（税抜）
発売元：ワーナー・ブラザース・ホームエンターテイメント

キャラクターデザイン・総作画監督
杉本功さんのオススメ

戦車映画として私がオススメしたいのは、1979年に公開された日本の映画「戦国自衛隊」ですね。これは、半村良さんの同名小説を映画化したもので、陸上自衛隊のある部隊が移動中、戦国時代にタイムスリップしてしまうという物語です。その部隊の隊長を、アクション俳優である千葉真一が演じており、劇中には、実物大のレプリカとして製作された、61式戦車が登場します。

そして「戦国自衛隊」の見どころは、61式戦車が走り回るシーン。実際に、61式戦車が騎馬武者のなかを走る姿が好きでした。また、操縦手が視察孔ごしに敵と目が合う場面も良かったですね。最後に奮戦した61式戦車は、燃料切れのため隊員の手で湖に沈められるのですが、このシーンも好きでした。

「戦国自衛隊」の61式戦車は、実車とくらべてパーツなどが違っていますが、同車のカッコよさは、感じられると思います。好き嫌いが分かれる作品だと思いますが、機会があったら観て欲しいです。



戦国自衛隊
Blu-ray&DVD発売中

監　督：斉藤光正
原　作：半村良
出　演：千葉真一、夏八木勲
渡瀬恒彦、江藤潤
岡田奈々 ほか
製　作：1979年（日本）
Blu-ray：2,800円（税抜）
DVD：2,800円（税抜）
発売元・販売元：株式会社KADOKAWA 角川書店

ミリタリー監修・イタリア軍研究家
吉川和篤さんのオススメ

私のオススメは、西住みほの由来となったと思われる実在の戦車長、西住小次郎中尉を主人公にした「西住戰車長傳」である。昭和12年（1937年）9月の上海上陸から戦車第五大隊第二中隊を率いて転戦し、翌年5月に戦死するまでの同中尉の戦功を描いた菊池寛の人気小説を、昭和15年（1940年）松竹が当時100万円の巨費を掛けて映画化。劇中に登場する日本軍の小火器から、中国軍のチェコ機銃やドイツ軍型鉄兜も含めた軍装まですべて実物であった。

また本物の兵士を動員した戦闘シーンは圧倒的で、発砲や爆破の特殊効果も、戦後映画にまったくひけを取らない。作品中は実物の八九式中戦車が数多く登場し、西住隊長車「456」号や「8960」号、「みほ」号（実は「みずほ」号の中央字が汚れて隠れたもの）などが縦横無尽に走る様子は圧巻。これらは危険と隣り合わせの長期中国ロケ中に実戦部隊から借り受けたもので、なかには豆戦車の九四式軽装甲車も見られ、日本軍戦車ファンにとって至高の一本である。



西住戰車長傳

監　督：吉村公三郎
原　作：菊池寛
出　演：上原謙
佐分利信
桑田通子
近衛敏明 ほか
製　作：1940年（日本）
配　給：松竹大船
写真提供：松竹

※現在「西住戰車長傳」のBlu-ray&DVDは発売されていません。

キャラクター原案協力・マンガ家
野上武志さんのオススメ

私は「パットン大戦車軍団」を推薦したいです。タイトル通り、第二次世界大戦を勝利に導いた将軍・ジョージ・パットンが大活躍する作品で、おそらくレンタル屋さんに置いてあると思います。邦題に「大戦車軍団」とあるのも魅力ですね。

戦車はそんなに登場しませんが、ロンメル戦車軍団に勝ったとき、パットンが「お前の本は読んだぞ!　ざまあみろ!」というところが中二病全開で大好きです。人を率いるときは、こんなにもキテレツな個性を持っていないとダメなのかなと、思いながら観ると最高です。

あと戦争映画に言えることですが、やっぱり戦車が正確に再現されていないものが多いですね。余計な知識が邪魔をして、純粋に映画を楽しめないところが、ミリタリーマニアの性ですね。でも「パットン大戦車軍団」では、古代ローマの遺跡で「俺はカエサルの生まれ変わりだ」と言うパットンを、ドン引きして見つめるブラッドレー少将の表情など、必見シーンが満載です。



パットン大戦車軍団
Blu-ray&DVD発売中

監　督：フランクリン・J・シャフナー
出　演：ジョージ・C・スコット
カール・マルデン
マイケル・ストロング
カール・ミカエル・フォーグラー ほか
製　作：1969年（アメリカ）
Blu-ray：2,381円（税抜）
DVD：<特別編>1,419円（税抜）
発売元：20世紀フォックス ホーム エンターテイメント ジャパン

プロデューサー 杉山潔さんのオススメ

これという一本を挙げるとすれば、「撃滅戦車隊3,000粁」です。英軍戦車部隊に入隊した米国人と英軍人の同僚との反目と友情を縦軸に、欧州を転戦する英軍戦車部隊の活躍を描いたモノクロ作品です。主要登場戦車は、私の大好きなM4シャーマンやファイアフライ。対するドイツ軍戦車には第二次世界大戦で鹵獲した、実物のティーガーⅠを使用しているらしいです。それを惜しげもなく燃やしているように見えてハラハラするのですが、果たして実際はどうだったんでしょうか。

また対ティーガーⅠの戦術も、忠実に描かれています。とにかく実物のM4シャーマンが大量に残っていた時代だったのでしょう。被弾して乗員が脱出したまま惰性で走行し、轍だか溝に履帯を取られて転覆するM4シャーマンをワンカットで見せるなど、本物のM4シャーマンすら惜しげもなく壊しているのです。このあたりは迫力があるのですが、胸が痛みます。今の目から見るとちょっと冗長ですが、シャーマン好きにはたまらない1本です。



撃滅戦車隊3,000粁

DVD発売中

監督・脚本：テレンス・ヤング
出　演：ラルフ・クラントン
　　　　エドワード・アンダーダウン
　　　　ヘレン・チェリー
　　　　クリストファー・リー
製　作：1950年（イギリス）
DVD：2,500円（税抜）
発売元：ニューライン
販売元：NBCユニバーサル・エンターテイメント

ミリタリーワークス 伊藤岳史さんのオススメ

戦車が登場する映画で、私がとくに好きなのは「遠すぎた橋」という作品です。これは、イギリスの将軍・モントゴメリー元帥のごり押しで始まった「マーケットガーデン作戦」（1944年9月、連合軍がオランダからドイツまでである、5つの橋を占拠しようとした空挺作戦）を、その立案から失敗までを淡々と描いた作品です。多少の脚色はあるものの、ひとつの作戦をほぼそのまま丁寧に描いた点で、一見の価値がある作品だと思います。

戦車マニアの視点から見ると、イギリス戦車部隊が発進するシーンがやはり圧巻です。よくぞここまで集めたと思うくらい、ファイアフライがレプリカも含めて一斉にスタートする場面は、何度観ても感動です。またドイツ軍車輌は当時レストアが進んでいなかったこともあり、さまざまなドイツ"風"車輌が登場します。その何とか似せようとする、涙ぐましい努力のあとが垣間見られて泣けてきます。パンター戦車役としてレオパルトⅠが登場しますが、意外とそれらしくなっていると思います。



遠すぎた橋

Blu-ray発売中

監　督：リチャード・アッテンボロー
出　演：ロバート・レッドフォード
　　　　ジーン・ハックマン
　　　　ジェームズ・カーン
　　　　ショーン・コネリー ほか
製　作：1977年（イギリス・フランス）
Blu-ray：2,381円（税抜）
発売元：20世紀フォックス
　　　　ホーム エンターテイメント ジャパン

M4が登場する映画 まだまだあります

見ておきたい戦争映画 はみ出しコラム

解説：杉山潔

最新戦車映画「フューリー」とのコラボ決定を記念して、ここではM4戦車が登場するそのほかの映画を紹介しよう。

「ミスタータンク」

米陸軍先任曹長が趣味でレストアしたM4を駆り、悪徳保安官に逮捕された息子を救出するため殴り込む痛快なB級アクション映画。父親の決意の朝、フェティッシュなエンジン始動シーンに感涙。

「最前線物語」

米陸軍第1歩兵師団の転戦を描く作品で、「スターウォーズ」のマーク・ハミルが臆病な兵士役で登場。ドイツ軍戦車に扮したアイ・シャーマンは見もの。アイ・シャーマンは戦後イスラエルで改造された車輌で、動く映像は非常に珍しい。

「戦闘機対戦車」

なんとドイツ軍のパンター戦車に扮したM4A3E8が、主翼に被弾して飛行不能となったP-40戦闘機と砂漠でデスレースを繰り広げるB級映画。砲身は後付けされたのか、マズルブレーキの造型が安っぽいのが残念。

コラボ決定!! 本物の戦車が登場する興奮の超大作!!



脚本・監督：デヴィッド・エアー
製作：ビル・ブロック、デビッド・エアー、
　　　イーサン・スミス、ジョン・レッシャー
製作総指揮：ブラッド・ピット、
　　　　　　サーシャ・シャピロ、
　　　　　　アントン・レッシン、
　　　　　　アレックス・オット、
　　　　　　ベン・ウェイスブレン
音楽：スティーヴン・プライス
出演：ブラッド・ピット、シャイア・ラブーフ、
　　　ローガン・ラーマン、
　　　マイケル・ペーニャ、
　　　ジョン・バーンサル ほか
配給：KADOKAWA
HP：fury-movie.jp

©Norman Licensing,LLC 2014



「フューリー」応援キャンペーン実施！

「フューリー」を応援するため、「ガルパン」ほかミリタリーアニメとのコラボが実現。全国のアニメイト、ゲーマーズ、書泉にて映画「フューリー」全国共通特別前売券をお買い求めのお客さまに、「ガルパン」のほか2作品からお好きな描き下ろしクリアファイルをひとつプレゼントいたします！

●期間：11月1日～27日　●価格：1,400円（税込）

※画像はデザイン中につき実物と異なる場合がございます
※数量限定無くなり次第終了いたします

フューリー

11月28日全国ロードショー

第二次世界大戦末期のヨーロッパ戦線を舞台に、戦車兵たちの葛藤と死闘を描いた話題のミリタリー映画「フューリー」が、いよいよ11月28日より公開される。この映画の見どころは、何といっても「本物」の戦車が登場すること。主人公で戦車部隊の指揮官、ウォーダディを演ずるブラッド・ピットは、M4A3E8シャーマン（イージーエイト）に搭乗。世界で唯一稼働する、ボービントン博物館のティーガーⅠと激戦を繰り広げるのだ。たった1輌でドイツの精鋭300名を迎え撃つ、絶望的なミッションに身を投じるウォーダディたちの運命を、ぜひ映画館で確かめて欲しい。





■表紙の戦車
黒森峰女学園
ティーガーⅠ&ティーガーⅡ

所属：黒森峰女学園
生産：ドイツ
製造：ヘンシェル社

CG：柳野啓一郎（グラフィニカ）
背景：岩瀬栄治（スタジオ・ちゅーりっぷ）

企画・編集・執筆
五十嵐智（バンダイビジュアル）
杉山潔（バンダイビジュアル）
小牧雅伸（スタジオ小牧）
千手創壱（スタジオ小牧）
鈴木貴昭
岡田邦彦
糟谷富美夫
モリナガ・ヨウ

執筆・編集協力
塩田昌之
まざきかつみ（Team Lutino）
愛瀬雅巳（Team Lutino）

写真提供
グランドパワー（ガリレオ出版）
ガールズ&パンツァー新聞（産経新聞社）
ウォーゲーミングジャパン
松竹

カバー・本文デザイン
原田美穂（OverDriveDesign）
石橋英孝（OverDriveDesign）
浜岡弘臣（OverDriveDesign）

協力
バンダイビジュアル
アクタス
グラフィニカ
スタジオ・ちゅーりっぷ
スタジオアカンサス
大洗シーサイドホテル
KADOKAWA
廣済堂出版

大洗町商工会
常盤良彦（クックファン・大洗まいわい市場）
高橋亘（大洗まいわい市場）
大洗町の皆さま
ガリレオ出版
産経新聞社
吉川和篤

発行日　2014年10月29日
発行人　前田明雄
発行所　バンダイビジュアル株式会社
〒140-0002
東京都品川区東品川4-12-4
http://www.bandaivisual.co.jp/
印刷所　株式会社テンプリント

月刊戦車道

第63回戦車道全国高校生大会 増刊 第5号

02　グラフィック イン アクション
挿絵／原画：伊藤岳史　仕上：原田幸子　特効：古市裕一　CG：大野恭央（グラフィニカ）
背景：和田いづみ（スタジオアカンサス）　監修：杉本功

04　ライバルチーム研究
文／鈴木貴昭　協力／吉川和篤

08　連載小説 聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡
聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道
文／鈴木貴昭
挿絵／原画：伊藤岳史　仕上：原田幸子　特効：古市裕一　CG：柳野啓一郎（グラフィニカ）
背景：岩瀬栄治（スタジオ・ちゅーりっぷ）　監修：杉本功

18　不肖・秋山優花里の戦車講座
文／糟谷富美夫
挿絵／モリナガ・ヨウ（21p）

22　大洗女子チームメンバー 戦車愛を語る
文／鈴木貴昭
挿絵／原画：伊藤岳史　仕上：原田幸子　特効：古市裕一　CG：柳野啓一郎（グラフィニカ）
背景：岩瀬栄治（スタジオ・ちゅーりっぷ）　監修：杉本功

26　大洗女子チームの日常
文／岡田邦彦
挿絵／原画：伊藤岳史　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
背景：岩瀬栄治（スタジオ・ちゅーりっぷ）　監修：杉本功

30　ガルパン トピックス
32　ガルパン メイキング ログ
34　ガルパン・イベントレポート
36　バック トゥ ザ カーニバル
38　プロジェクトG ～ガルパンを支えた人びと～
武田頼政／坂本博
42　それいけ! ガルパン料理道
44　ガルパン流 戦車の楽しみ方

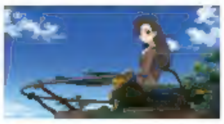
第63回戦車道全国高校生大会 増刊 第6号（最終号） 次回予告

死力を尽くしたダージリンの戦いがついに完結！
連載小説 聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡
聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

図のクロムウェルが残っているとはいえ、わずかな車輌で黒森峰の主力と対峙するダージリン。決してあきらめず、フラッグ車を目指す彼女たちに、勝機はあるのだろうか!?




知波単学園の知られざる実力を探る **ライバルチーム研究**




全国大会では、九七式中戦車で黒森峰に立ち向かった知波単学園のほか、継続高校など個性的な学校をクローズアップ。その隠れた実力と校風のすべてを、つぶさに解説します

優勝後のあんこうチームにスポットを当てた
大洗女子チームの日常
全国大会も終わり、のんびりした日々を送る大洗女子チーム。そんな彼女たちの素顔をお届けします



充実した記事で戦車の魅力を紹介
・グラフィック イン アクション
・大洗女子チームメンバー 戦車愛を語る
・不肖・秋山優花里の戦車講座
・プロジェクトG ～ガルパンを支えた人びと～
・ガルパン流 戦車の楽しみ方
etc.

第6号は12月18日発送開始！
ご購入は「バンダイビジュアルクラブ」まで
●アドレス
https://bvc.bandaivisual.co.jp/feature/119/

ガールズ&パンツァー
GIRLS und PANZER
月刊 戦車道 特別編集
月刊 戦車道 第63回 戦車道全国高校生大会 増刊第5号
●発行：財団法人 日本戦車道連盟 Tel.1000-100-5050
●編集：月刊戦車道 編集部
●発売・販売元：BANDAI VISUAL バンダイビジュアル株式会社

TU-0274

